

効果的なFP相談を目指して

- 住宅ローンと子供の私学教育の両立を考える
- リタイアメント・プランと相続入門

FPキャプテンを駆使してFP相談の質を高めましょう

ウェブ・ステージ

1級ファイナンシャル・プランニング技能士



岩崎 康之



URL: <http://webstage21.com/cf/>

E-mail: webstage@ny.airnet.ne.jp

TEL : 045-624-9603

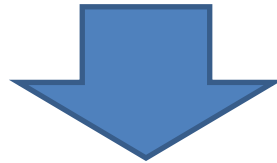
事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

目次

序文

第一章 FPキャプテンの基本動作編

== 自宅購入・私立学校 ==



第二章 FPキャプテンの基本動作編 (#2)

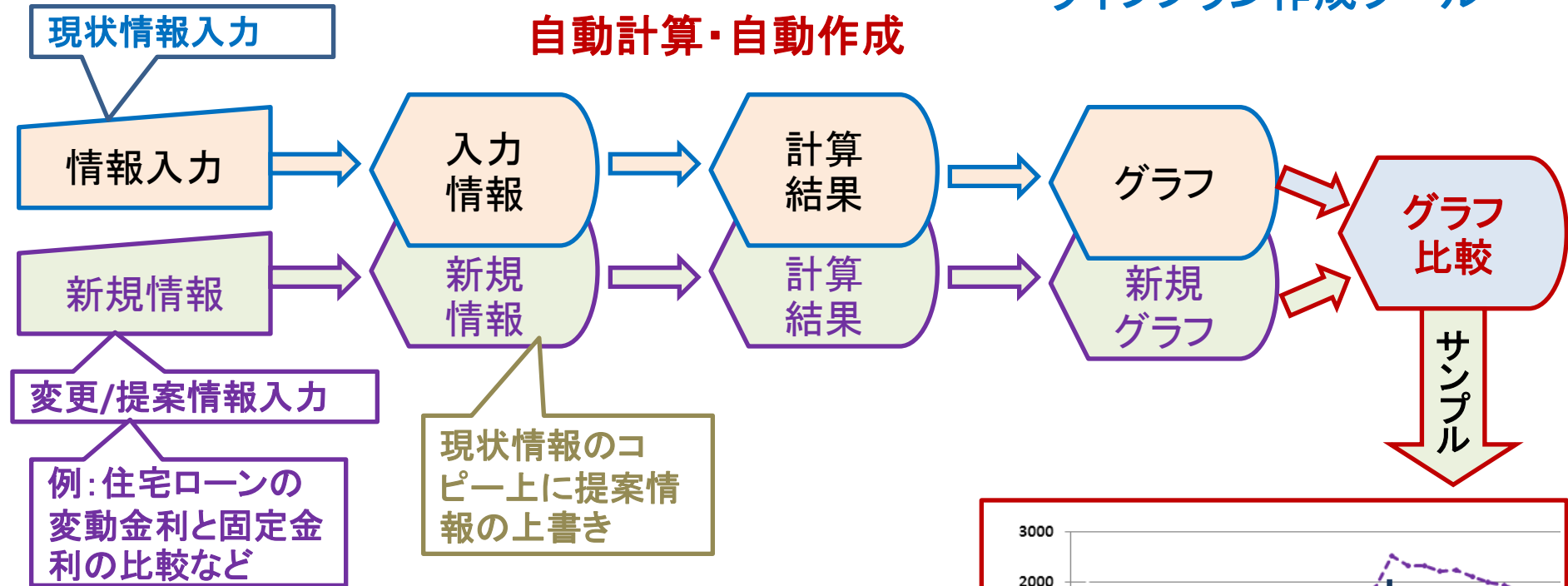
==リタイアメント・プランと相続入門==

- 例題1: 『現状の収支』 ⇒ 収入・教育・年金など
- 例題2: 『ゆるやかなインフレ』に向けて ⇒ 比較グラフ作成
- 例題3: 『相続税』の確認
- 例題4: 提案書作成
- 追加説明項目

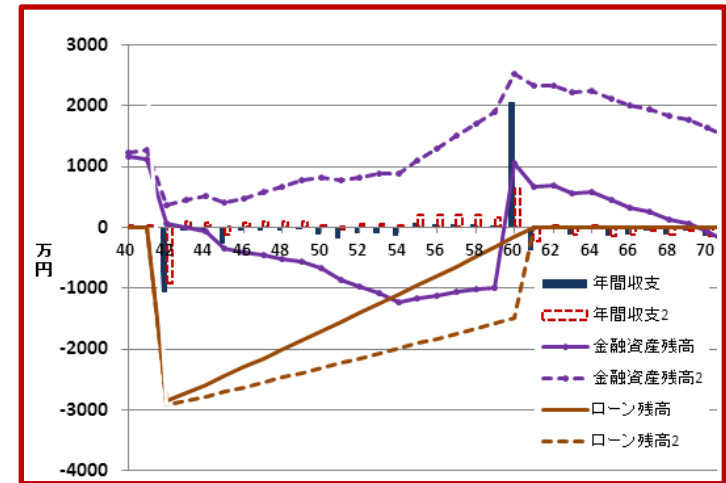
『FPキャプテン』⇒比較グラフ作成

ライフプラン作成ツール

自動計算・自動作成



簡単入力で比較グラフを追加表示します



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

収入と支出の把握

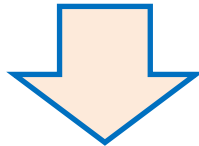
年間収入はいくらですか？ ⇒ 一年間の可処分所得を把握しましょう

- 「給与所得者」と「年金受給者」の「可処分所得」は、「支払金額」から「所得税・住民税」と「社会保険料」を引いた額です。
- 「事業(不動産)所得者」の「可処分所得」は、「事業(不動産)収入」から「所得税・住民税」と「社会保険料」と「必要経費」を引いた額です。

年間基本支出はいくらですか？ ⇒ 一年間の項目毎の支出を把握しましょう

- 「支出項目」に分けた「支出集計表」を作成し、過去一年の「基本支出」を把握しましょう。(基本生活費・教育関連費・住居関連費・保険関連費・自動車関連費・その他)
- 「可処分所得」から過去一年間の「貯蓄額」と、既に把握できている「支出合計」を引いた残額を「使途不明金」として「基本生活費」に追加します。

FPキャプテン



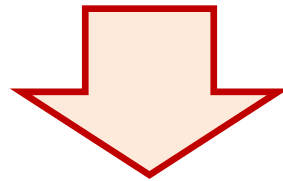
上記情報が無くてもお客様のキャッシュフロー概要を予測できます

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

大事なお客様を逃がさない工夫

お客様との会話中にしたい事

1. お客様の現状をグラフにまとめて表示
2. FPの**提案**をグラフで比較
3. 次回の面談の為にサマリーを渡す（印刷）



『FPキャプテン』を使用すれば可能です

面談中にグラフが作成できる理由

1. 最低限の入力箇所

2. 自動入力機能

1. 収入（職種による年収予測・勤務年数による年金）
2. 生活費（統計値使用可能・扶養人数自動対応）
3. お子様（教育費・援助資金）
4. 住宅購入（諸経費・メンテナンス費・修繕費）
5. 必要保障額（予備費、加給年金、振替加算、中高齢寡婦加算、経過的寡婦加算）
6. 相続税概算

3. 比較グラフ： 変更箇所の入力で作成

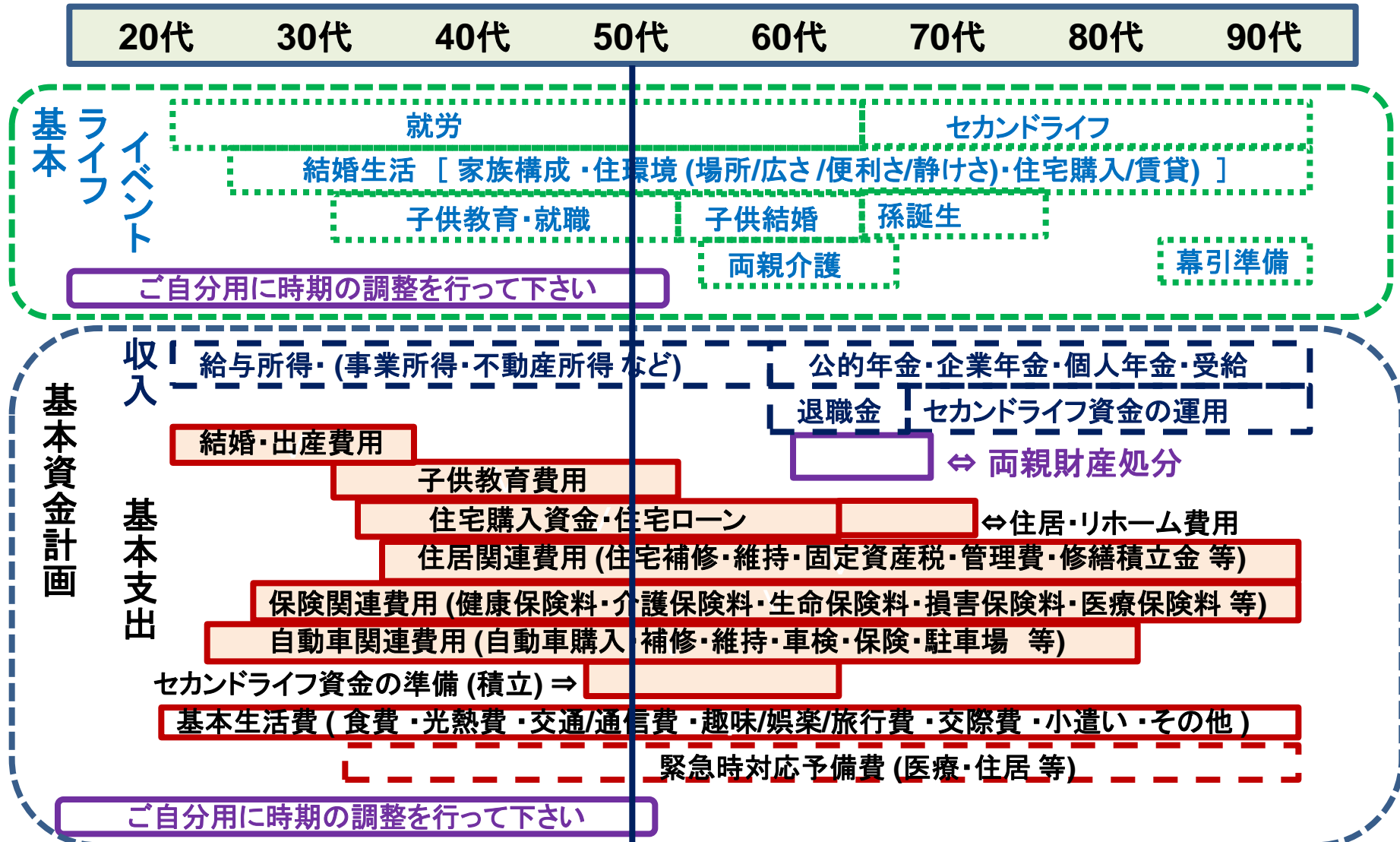
第二章 FPキャプテンの応用編

==リタイアメント・プランと相続入門==

例題1：『現状の収支』

収入・教育・年金など

『基本ライフステージ』の展開 ⇒ 例



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『在職中』と『セカンドライフ』の時間比較 ⇒ 例

20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代
在職 (注1) 就労時間 (拘束時間) = 約10万時間					セカンドライフ (自由時間) = 約10万時間 (注2)		

➤ 注1 (就労時間): 10時間 x 5日 x 52週 x 約40年 = 約104,000時間

➤ 注2 (セカンドライフ): 14時間 x 7日 x 52週 x 約20年 = 約101,920時間



- **健康維持と夫婦円満**が重要です。
- 在職中の色々な**経験**が、セカンドライフの**目標・夢**に活かされます。
- ライフプランの**(追加) ライフイベント 計画表 ***(セカンドライフの**目標・夢**を含む)は、**資金的にゆとりのある在職中**にたてることをお勧めします。(*後述)
- セカンドライフの**資金**は、在職中の**本業**の収入で賄うことが基本です。
- セカンドライフでは、夫婦でいる時間が長くなりますので、夫婦それぞれの居場所を確保し、適度な距離において、お互いの独立性を尊重し、新鮮な感覚で接するようにはいかがですか。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、このようになるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

例：『基本ライフデザイン』：基本ライフイベント計画表

基本ライフステージの展開にある『基本ライフイベント』を基にあなたの『基本ライフイベントの計画表』を作成して下さい。今後15年の計画を記入します。（年末年齢で記入）

基準年 →	基本ライフイベント					『基本ライフステージ』の展望	
	西暦	夫	妻	一子	二子	基本ライフイベント①	基本ライフイベント②
20xa	50歳	49歳	16歳	14歳		一子 高校入学	自宅 リホーム
20xa	51歳	50歳	17歳	15歳			
20xb	52歳	51歳	18歳	16歳		二子 高校入学	
20xc	53歳	52歳	19歳	17歳		一子 大学入学	
20xd	54歳	53歳	20歳	18歳			
20xe	55歳	54歳	21歳	19歳		二子 大学入学	
20xf	56歳	55歳	22歳	20歳			
20xg	57歳	56歳	23歳	21歳		一子 就職	
20xh	58歳	57歳	24歳	22歳			
20xi	59歳	58歳	25歳	23歳		二子 就職	
20xj	60歳	59歳	26歳	24歳		夫退職(退職金)再就職	自宅 リホーム
20xk	61歳	60歳	27歳	25歳			
20xl	62歳	61歳	28歳	26歳			
20xm	63歳	62歳	29歳	27歳			
20xn	64歳	63歳	30歳	28歳			
20xo	65歳	64歳	31歳	29歳		夫再就職退職	

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『現状の収支』 ⇒ 収入・教育・年金など

昨年50歳：収入が平均以上の方

ライフプラン・サンプル

基準年 昨年

家族情報	名前	年齢 (昨年)	生年月日	給与情報 * 大企業情報通信業部長				再雇用 60~64歳	リタイアメント		
				就職年齢	退職年齢	税込年収	52歳まで		退職金	退職金受領	公的年金
世帯主 *	A	50歳	省略	23歳	64歳	1,100万円	昇給 3.460%	給料52%	3,714万円	60歳	65歳
配偶者	B	49歳	省略	45歳	59歳	100万円		無職			65歳
第一子	C	16歳	省略								
第二子	D	14歳	省略								

進学方針・資金援助関連

		教育費 (上昇率:-1%)						結婚資金援助	
		幼稚園	小学校	中学校	高校	大学	通学方法	年齢	援助額
第一子	C	私立	公立	公立	公立	私立文系	自宅	30歳時	100万円
第二子	D	私立	公立	公立	公立	私立文系	自宅	30歳時	100万円

金融資産残高

残高	1800万円	運用率	0%
----	--------	-----	----

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『現状の収支』 ⇒ 支出

支出

基本生活費	360万円 /年	60歳後	80.00%	全ての期間の上昇率	0.00%	家族人数反映=1(yes)
-------	----------	------	--------	-----------	-------	---------------

住宅購入

	自宅
取得年	31歳時
物件購入費	4000万円
借入金額	3600万円
借入金利 固定	2.20%
返済年数	29年
退職時の状況	完了

保険	24万円 /年	/年
リホーム	10年後:100万円	20年後:200万円
	30年後:100万円	40年後:400万円

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『FPキャプテン』を開きます

セキュリティーの警告が出た場合は『コンテンツの有効化』を押して下さい

使用可能	333283	Version	15.52
99999	333283	88888	kfpkfp

FPの期待に応える！

～ライフプラン作成ソフト～

押す

FPキャプテン

使用開始には使用許諾契約と利用規約の両方にご同意後、上記【FPキャプテン】の文字を押して下さい ↑
FPキャプテン 使用許諾契約と利用規約は、インターネット接続後、この文章を押して下さい。

注意: 当EXCELソフトのファイル名の2個の“@”の間は変更しないで下さい。
ファイル名に新たに『_』『-』『@』『.』『/』『\』『』小文字などを追加使用しないで下さい。

販売: 神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第1安田ビル 7F

URL: <http://www.fp-kanagawa.com>

E-mail: info@fp-kanagawa.com

開発: ウェブ・ステージ (Webstage)

URL: <http://webstage21.com/cf/>

E-mail: webstage@ny.airnrt.ne.jp

途中の質問には『OK』または『保存』を押します

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『メニュー』 ⇒ 『質問票』の矢印を押す

注:『メニュー』がQ&Aの版、またはメニューをスキップしている版もあります

FPキャプテン
ライフプラン作成ソフト

注:当EXCELソフトはパソコンにダウンロードしてからご使用下さい。(“C”ホルダー)
USBメモリー,CD,メール受信ボックス上での動作は保障いたしません。

使用可能 333286 Version 15.52
99999 333286 yiwasaki kfpkfp

注意:当EXCELソフトのファイル名の2個の“@”の間は変更しないで下さい。
ファイル名に新たに「_」「-」「@」「/」「\」小文字などを追加使用しないで下さい。
当EXCELソフトは登録されているパソコンのユーザー名の“ハードディスクドライブのC”のホルダーでご使用下さい。










『簡単』ヘジャンプ ⇒ 

左の緑矢印を押して家族構成・職種などの入力(簡単シート)にお進みください

注:マクロを使用しない方は下の『タブ(シート名)』をご使用下さい

[初期設定値 \(インターネット接続後ご使用下さい\)](#)

【メニュー】

内容	下記の矢印をクリック	シート名
家族構成、職種などの入力 [必須]		簡単
収入と金融資産などの入力 [必須]		収入
支出関連 (生活費・住宅ローンなど)の入力 [必須]		支出
年金・保険・支出などの詳細情報入力 [任意]		入力
年間収支・金融資産残高・ローン残高などの表示		図
ローン関連の表示		ローン
相続・贈与情報の入力		資産
質問票を使用しての入力		

使用上の制限条項、初期設定項目、自動計算項目はスクロールダウンすることにより閲覧できます。
FPキャプテンのご記入に役立つ【相談データ記入シート】は右側の「ここ」の文字をクリックして下さい。

[「ここ」](#)

ご連絡

[お問い合わせフォーム](#)

(WEB環境でご使用下さい)

質問票を押す

【FPキャプテン・使用許諾契約】

【FPキャプテン・利用規約】

【FPキャプテン・改訂情報】

ご使用に当たり上記の文字をクリックして、【使用許諾契約】、【利用規約】、【改訂情報】などの全条項にご同意願います。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『質問票』が開きます

お金の使い方を調べてみましょう（薄ピンク色の所にご記入をお願いします）
 （質問票は給与所得者 20歳～59歳で年収が150万円以上が対象）

家族	何歳ですか（昨年末の満年齢）				
	配偶者は何歳ですか（昨年末の満年齢）				
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい				

仕事	お仕事についてお伺いいたします。次の中から 選択 してください				
		性別	企業規模の選択	職種の選択	税込年収(万円)の記入 (*注)
	ご本人	男性	選択	選択	
配偶者	女性	選択	選択		

注:ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産（昨年末）		昨年末の預貯金、債券、株券、外貨預金など
-----------	--	----------------------

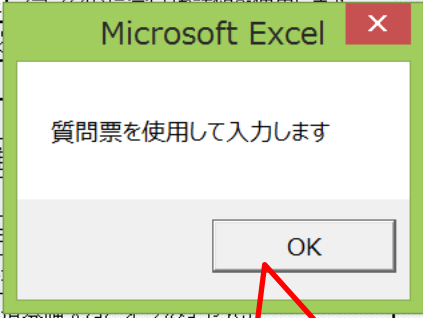
支出	家計についてお伺いいたします。次の中にご記入ください				
	基本生活費	年額(万円)		食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑	
	家賃	年額(万円)		既に自宅購入者は不要です	
	車関連費	年額(万円)		車の税金、保険代、ガソリン代、維持費の年	
	保険料	年額(万円)		生命保険、医療保険、火災保険などの月平	
	その他	年額(万円)		上記以外の支出（一種の使途不明金で預金や債券購入などを含むものは	

注:ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください

	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	年利(%)	期間(年)
		選択				

以前の内部情報がある場合に於いても、上記の新規情報を上書きすることを承諾しますか？ ⇒ **承諾する**



①「OK」を押します

上記ご回答をグラフに表示
 ここをクリック願います

項目選択画面へ

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『質問票』が開きます

お金の使い方を調べてみましょう（薄ピンク色の所にご記入をお願いします）

家族	何歳ですか（昨年末の満年齢）					
	配偶者は何歳ですか（昨年末の満年齢）					
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい					

仕事	お仕事についてお伺いいたします。次の中から選択してください				
		性別	企業規模の選択	職種の選択	税込年収(万円)の記入(*注)
	ご本人	選択	選択	選択	
配偶者	選択	選択	選択		

注: ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産（昨年末）		昨年末の預貯金、債券、株券、外貨預金など全ての合計額です
-----------	--	------------------------------

支出	家計についてお伺いいたします。次の中にご記入ください				
	基本生活費	年額(万円)		食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等(*注)	
	家賃	年額(万円)		既に自宅購入者は不要です	
	車関連費	年額(万円)		車の税金、保険代、ガソリン代、維持費の年平均額（車体価格を除く）	
	保険料	年額(万円)		生命保険、医療保険、火災保険などの月平均額（車の保険を含みません）	
その他	年額(万円)		上記以外の支出（一種の使途不明金で預金や債券購入などを含みません）		

注: ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください						
	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	年利(%)	期間(年)
		選択				

以前の内部情報がある場合に於いても、上記の新規情報を上書きすることを承諾しますか？ ⇒ **選択**

上記ご回答をグラフに表示

ここをクリック願います

項目選択画面へ

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『質問票』に記入します (年齢)

お金の使い方を調べてみましょう (薄ピンク色の所にご記入をお願いします)

家族	何歳ですか (昨年末の満年齢)	50歳				
	配偶者は何歳ですか (昨年末の満年齢)	49歳				
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい	16歳	14歳			

①質問票に年齢を記入します

仕事	お仕事についてお伺いいたします。次の中から選択してください				
		性別	企業規模の選択	職種の選択	税込年収(万円)の記入 (*注)
	ご本人	選択	選択	選択	
配偶者	選択	選択	選択		

注:ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産 (昨年末)		昨年末の預貯金、債券、株券、外貨預金など全ての合計額です
------------	--	------------------------------

支出	家計についてお伺いいたします。次の中にご記入ください		
	基本生活費	年額(万円)	食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等 (*注)
	家賃	年額(万円)	既に自宅購入者は不要です
	車関連費	年額(万円)	車の税金、保険代、ガソリン代、維持費の年平均額 (車体価格を除く)
	保険料	年額(万円)	生命保険、医療保険、火災保険などの月平均額 (車の保険を含みません)
	その他	年額(万円)	上記以外の支出 (一種の用途不明金で預金や債券購入などを含みません)

注:ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください						
	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	年利(%)	期間(年)
		選択				

以前の内部情報がある場合に於いても、上記の新規情報を上書きすることを承諾しますか? ⇒ **選択**

上記ご回答をグラフに表示

ここをクリック願います

項目選択画面へ

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『質問票』に記入します (職業・金融資産)

お金の使い方を調べてみましょう (薄ピンク色の所にご記入をお願いします)

家族	何歳ですか (昨年末の満年齢)	50歳			
	配偶者は何歳ですか (昨年末の満年齢)	49歳			
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい	16歳	14歳		

仕事	お仕事についてお伺いいたします。次の中から選択してください			
	性別	企業規模の選択	職種の選択	税込年収(万円)の記入(*注)
	ご本人	男性 大企業(1000人以上)	情報通信業	1100万円
配偶者	女性	選択	選択	100万円

①質問票の職業欄に記入します

注:ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産 (昨年末)	1800万円	昨年末の預貯金、債券、株券、外貨預金など全ての合計額です
------------	--------	------------------------------

②質問票の金資産に記入します

支出	家計についてお伺いいたします。次の中にご記入ください	
基本生活費	年額(万円)	食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等 (*注)
家賃	年額(万円)	既に自宅購入者は不要です
車関連費	年額(万円)	車の税金、保険代、ガソリン代、維持費の年平均額 (車体価格を除く)
保険料	年額(万円)	生命保険、医療保険、火災保険などの月平均額 (車の保険を含みません)
その他	年額(万円)	上記以外の支出 (一種の使途不明金で預金や債券購入などを含みません)

注:ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください					
	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	期間(年)
		選択			

以前の内部情報がある場合に於いても、上記の新規情報を上書きすることを承諾しますか? ⇒ **選択**

上記ご回答をグラフに表示

ここをクリック願います

項目選択画面へ

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『質問票』に記入します (支出)

お金の使い方を調べてみましょう (薄ピンク色の所にご記入をお願いします)

家族	何歳ですか (昨年末の満年齢)	50歳			
	配偶者は何歳ですか (昨年末の満年齢)	49歳			
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい	16歳	14歳		

仕事	お仕事に関してお伺いいたします。次の中から選択してください				
		性別	企業規模の選択	職種の選択	税込年収(万円)の記入 (*注)
	ご本人	男性	大企業 (1000人以上)	情報通信業	1100万円
配偶者	女性	選択	選択	100万円	

注: ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産 (昨年末)	1800万円	昨年末の預貯金、債券、株券、外貨預金など全ての合計額です
------------	--------	------------------------------

支出	家計に関してお伺いいたします。次の中から選択してください		① 質問票の職業欄に記入します		
	基本生活費	年額(万円)	360万円	食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等 (*注)	
	家賃	年額(万円)		既に自宅購入者は不要です	
	車関連費	年額(万円)		車の税金、保険代、ガソリン代、維持費の年平均額 (車体価格を除く)	
	保険料	年額(万円)	24万円	生命保険、医療保険、火災保険などの月平均額 (車の保険を含みません)	
その他	年額(万円)		上記以外の支出 (一種の用途不明金で預金や債券購入などを含みません)		

注: ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください						② 質問票のローン欄に記入します
	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	年利(%)	期間(年)
	4000万円	固定金利	31歳	3600万円	2.200%	29年

以前の内部情報がある場合に於いても、上記の新規情報を上書きすることを承諾しますか? ⇒	選択
---	----

上記ご回答をグラフに表示

ここをクリック願います

項目選択画面へ

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『質問票』に記入したのを上書きします

お金の使い方を調べてみましょう（薄ピンク色の所にご記入をお願いします）

家族	何歳ですか（昨年末の満年齢）	50歳				
	配偶者は何歳ですか（昨年末の満年齢）	49歳				
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい	16歳	14歳			

仕事	お仕事に関してお伺いいたします。次の中から選択してください				
		性別	企業規模の選択	職種の選択	税込年収(万円)の記入(*注)
	ご本人	男性	大企業(1000人以上)	情報通信業	1100万円
配偶者	女性	選択	選択	100万円	

注: ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産（昨年末）	1800万円	昨年末の預貯金、債券、株券、外貨預金など全ての合計額です
-----------	--------	------------------------------

支出	家計に関してお伺いいたします。次の中にご記入ください				
	基本生活費	年額(万円)	360万円	食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等(*注)	
	家賃	年額(万円)		既に自宅購入者は不要です	
	車関連費	年額(万円)		車の税金、保険代、ガソリン代、維持費の年平均額（車体価格を除く）	
	保険料	年額(万円)	24万円	生命保険、医療保険、火災保険などの月平均額（車の保険を含みません）	
その他	年額(万円)		上記以外の支出（一種の使途不明金で預金や債券購入などを含みません）		

注: ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください						
	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	年利(%)	期間(年)
	4000万円	固定金利	31歳	3600万円	2.200%	29年

①承諾するを選択します

以前の内部情報がある場合に於いても、上記の新規情報を上書きすることを承諾しますか？ ⇒ **承諾する**

上記ご回答をグラフに表示

ここをクリック願います

項目選択画面へ

②ここをクリックします

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

収入・支出・年間収支グラフの表示

家族4名 自宅購入

収入・支出・年間収支

現状(例1)税込

作成者

様

記入日

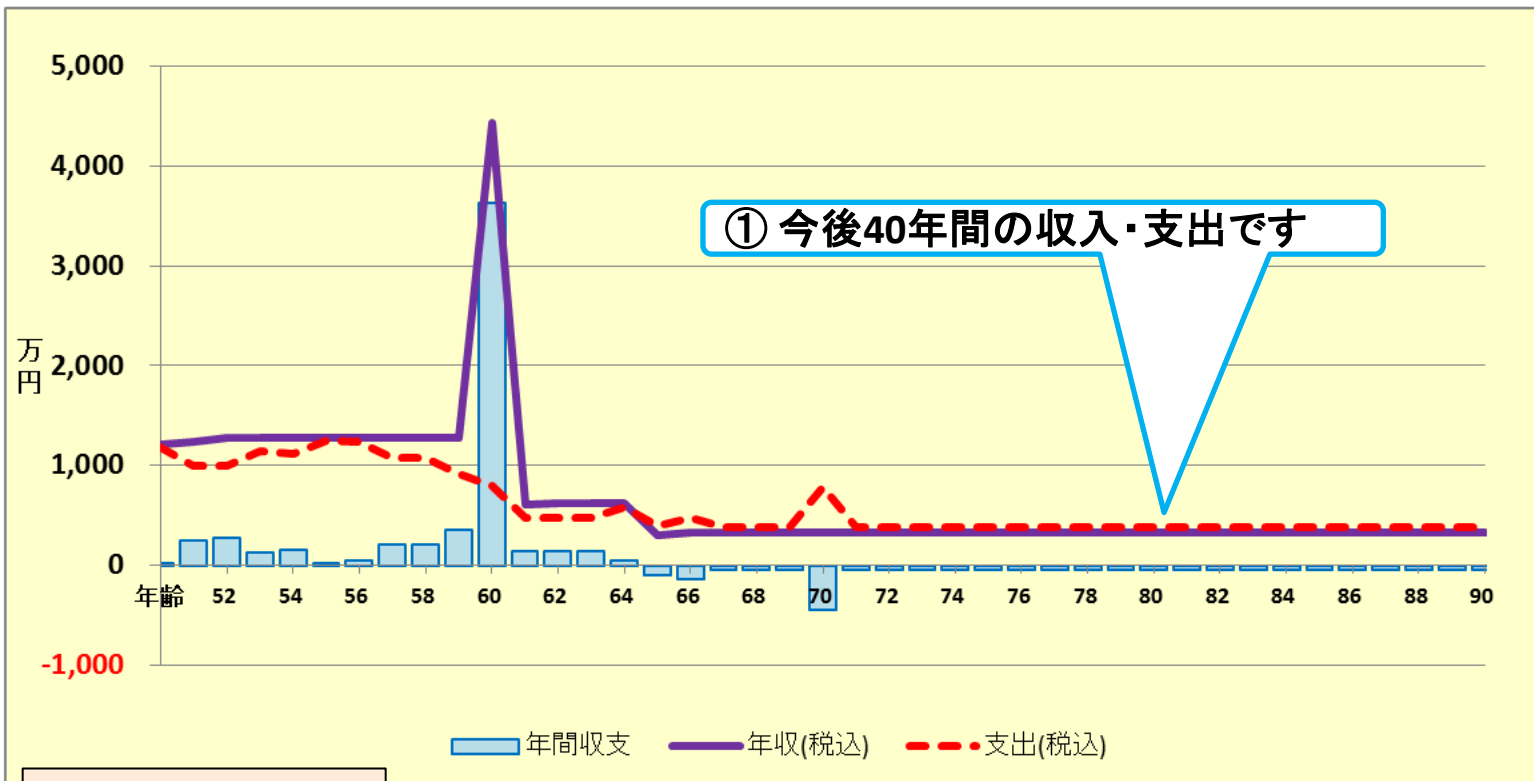
印刷

他へ

グラフの選択
現状(例1)税込

①右側の赤矢印を押して他のグラフを確認します

次へ



FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

金融資産残高・グラフの表示

家族4名 自宅購入

「キャッシュ」押します

次に進む⇒ 『メニュー』へ 『入力』 『ローン』へ 『キャッシュ』 『キャッシュ2』 『情報』へ

現状：収支と金融資産

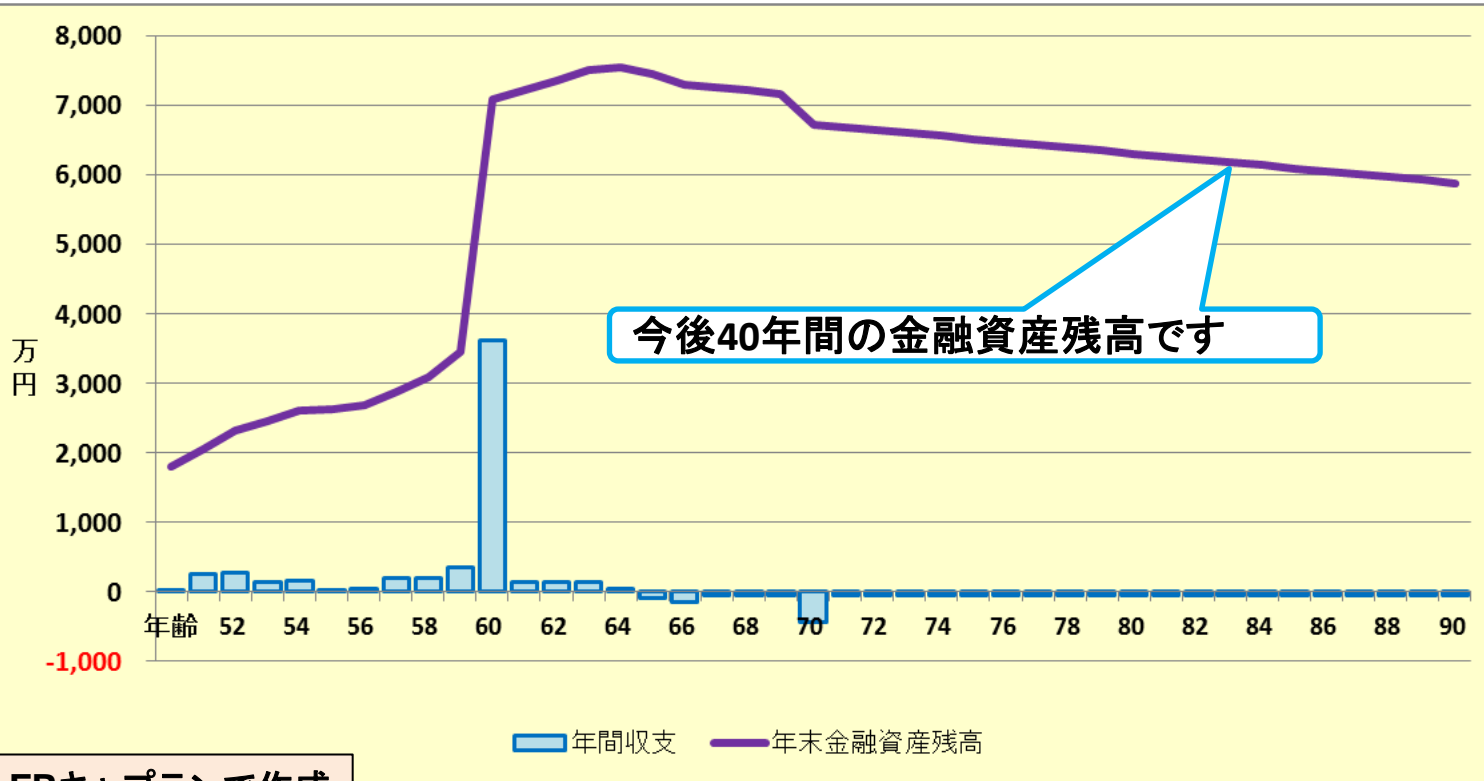
作成者

様

記入日

印刷

グラフの選択
現状：収支と金融資産



次へ ↓

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『現状：キャッシュフローの表示』

「ローン」を押します

次に進む⇒『資産』へ		←『入力』へ	『図』へ	『ローン』へ	『総収支』へ	『キャッシュ2』	『情報』へ	印刷							
現状(例1:Input)		現状のキャッシュフロー表 (単位:万円)												作成	
経過年数	基準年⇒	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
西暦		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	
ライフイベント		家族・夫婦予定	1子高		2子高		1子文		2子文		退職				
		本人	3.460%	792	817	843	843	843	843	843	843	843	481	483	484
収入	可処分所得	配偶者	0.000%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	0	0	0
	可処分所得	退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	3,490	0	0	
	ローン借入金			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	副収入: 企年金: 一時的: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他ローン控除: 個年金: 注	0.000%	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	収入合計(可処分所得)			898	923	943	943	943	943	943	943	943	4,071	483	484
支出	基本生活費	0.000%	360	360	360	360	360	360	354	354	349	279	279	279	
	住居費(ローン以外)	0.000%	240	40	40	40	40	40	40	40	40	140	40	40	
	教育費	0.000%	84	84	77	216	191	330	306	153	153	0	0	0	
	保険料	0.000%	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一時的支出	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他支出・年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	支出小計1			708	508	501	640	615	754	730	571	571	413	443	343
	ローン返済代+諸費用			168	168	168	168	168	168	168	168	168	0	0	0
	使途不明金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計			876	676	669	808	784	922	898	739	739	581	443	343	
年間収支	1,778		22	247	273	135	159	20	45	204	204	362	3,628	140	141
年末金融資産残高	1,800	0.000%	1,800	2,047	2,321	2,455	2,615	2,635	2,680	2,884	3,088	3,450	7,077	7,217	7,358
ローン残高(年末)			1,371	1,232	1,089	944	795	643	487	328	166	-0	0	0	0

児童手当受給額+すまい給付金 万円 6 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

金融資産残高・グラフの表示

家族4名 自宅購入

「入力」を押して名前を入れます

次に進む⇒

『メニュー』へ

『入力』

『図』へ

『キャッシュ』

『キャッシュ2』

『情報』へ

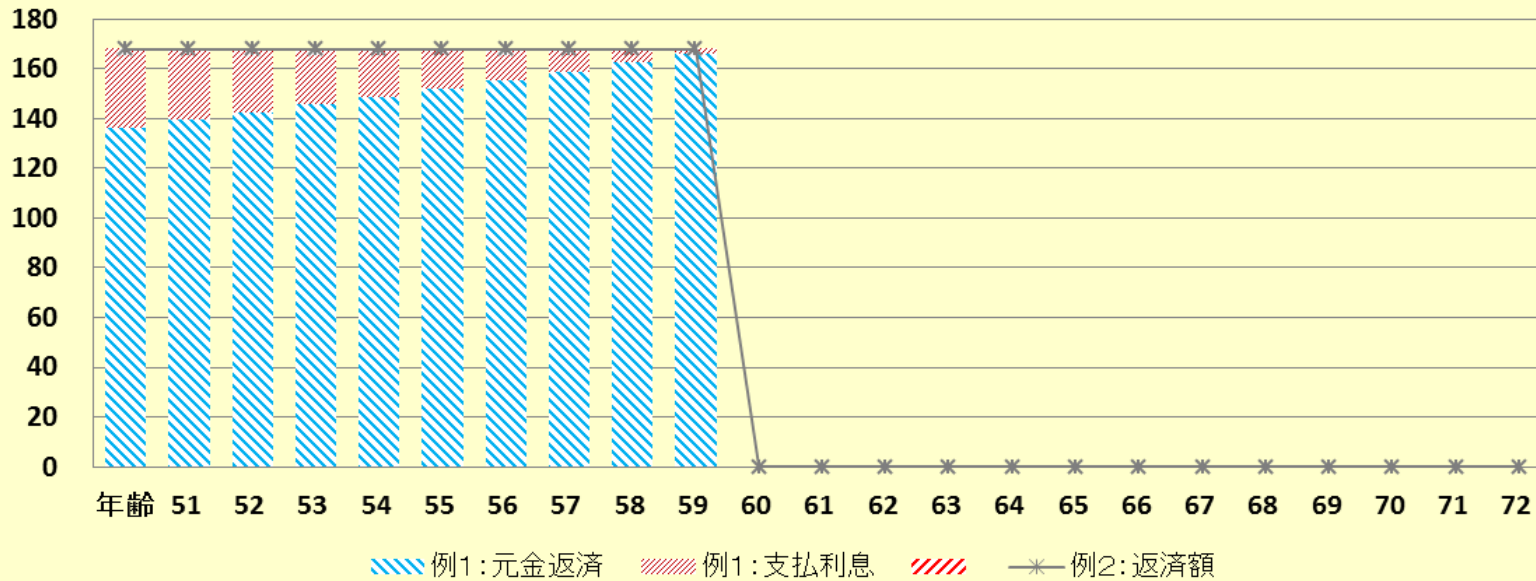
印刷

様

記入日

作成者

ローン返済額内訳 (基準年～初期22年) 単位: 万円



次へ ↓

FPキャプテンで作成

=1, 変更(例2)=2 1

他: 返済額: 1

西暦=1 2

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

氏名：作成者などを入力します

入力シートが開きます

(給与所得者 20歳～64歳で年収が120万円以上が対象) 肌色の部分の情報をご確認ください。 緑・灰色の部分はオプションです 教育は高卒以上を前提とする

詳細作成用 様 1965 基準年 2015 本人年齢 60 西暦 2025

1月1日～12月31日で計算します 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

家族	家族	本人	配偶者	無しは-1歳	第一子	第二子	第三子	子(父)	子(母)
	基準年末・年齢(歳)	50	49	年齢(歳)	16	14	-1	-1	-1
	基準年・税込年収(万円)	1,100	100	誕生西暦					
	任意:基準年可処分所得			1					1

教育	幼歳	4	変動率		資金援助				
教育番号	幼	小	中	高	前大	後大	院	年齢	額
第一子	11	2	3	4	16	16		30	100
第二子	11	2	3	4	16	16		30	100
第三子	11	2	3	4	16	16		30	100



⑤最後に「メニュー」を押して最初に戻ります

④作成者を「作成者 木村太郎」のように作成者を入れて入力します

次に進む 『メニュー』へ 『情報』へ 『図』へ 『ローン』へ 『キャッシュ』 『キャッシュ2』 印刷

注:『ライブプラン通常作成版』で使用した項目は、『ライブプラン簡単・収入・支出作成版』の変更を反映しません

(給与所得者 20歳～64歳で年収が120万円以上が対象) 肌色の部分の情報をご確認ください。 緑・灰色の部分はオプションです 教育は高卒以上を前提とする

詳細作成用 山田様 1965 基準年 2015 本人年齢 60 西暦 2025

1月1日～12月31日で計算します 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

家族	家族	達也	奈々	無しは-1歳	佐奈	大空	第三子	子(父)	子(母)
	基準年末・年齢(歳)	50	49	年齢(歳)	16	14	-1	-1	-1
	基準年・税込年収(万円)	1,100	100	誕生西暦					
	任意:基準年可処分所得								

教育	作成者の入力 ⇒ 必要に応じ姓名を入力出来ます
教育番号	作成者 氏名 ⇒ で入力してください
佐奈	注:作成者と氏名の間に『:』などの特殊文字や半角文字
大空	など混合使用しますと、次回開いた時に『読み取れない内

①「姓」に「様」付けて入力します。

②「名」を入力します。(様は不要です)

③記入日を「2016/2/13」のように半角で西暦で入力します

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。 事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

例題2: 『ゆるやかなインフレ』に向けて

アベノミクスが成功した場合
今後、40年間平均物価上昇が『0.7%』と仮定します
基本生活費の変動率を『0.7%』とします



比較グラフの作成
変更**に比較グラフを作成します**

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『メニュー』 ⇒ 『項目選択画面』を押す

お金の使い方を調べてみましょう（薄ピンク色の所にご記入をお願いします）

家族	何歳ですか（昨年末の満年齢）	50歳			
	配偶者は何歳ですか（昨年末の満年齢）	49歳			
	お子様の年齢を大きい順に入れて下さい	16歳	14歳		

仕事	お仕事についてお伺いいたします。次の中から選択してください				
		性別	企業規模の選択	職種の選択	税込年収(万円)の記入(*注)
	ご本人	男性	大企業(1000人以上)	情報通信業	1100万円
配偶者	女性	選択	選択	100万円	

注: ブランクの場合は統計値を使用します

金融資産（昨年末）	1800万円	昨年末の預貯金、債券、株券、外貨預金など全ての合計額です
-----------	--------	------------------------------

支出	家計についてお伺いいたします。次の中にご記入ください				
	基本生活費	年額(万円)	360万円	食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等(*注)	
	家賃	年額(万円)		既に自宅購入者は不要です	
	車関連費	年額(万円)		車の税金、保険代、ガソリン代、維持費の年平均額（車体価格を除く）	
	保険料	年額(万円)	24万円	生命保険、医療保険、火災保険などの月平均額（車の保険を含みません）	
	その他	年額(万円)		上記以外の支出（一種の使途不明金で預金や債券購入などを含みません）	

注: ブランクの場合は統計値を使用します

自宅購入契約がある場合には次にご記入ください						
	物件価格(万円)	金利タイプ	借入年齢(歳)	借入金額(万円)	年利(%)	期間(年)
	4000万円	固定金利	31歳	3600万円	2.200%	29年

以前の内部情報がある場合に於いても、上記の新規情報を上書きすることを承諾しますか？ ⇒ **選択**

上記ご回答をグラフに表示

ここをクリック願います

項目選択画面へ

①項目選択画面へを押す

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『メニュー』⇒『支出』を押す

FPキャプテン ライフプラン作成ソフト

注:当EXCELソフトはパソコンにダウンロードしてからご使用下さい。(“C”ホルダー)
USBメモリー,CD,メール受信ボックス上での動作は保障いたしません。

使用可能 333285 Version 15.52
99999 333285 yiwasaki kfpkfp

注意:当EXCELソフトのファイル名の2個の“@”の間は変更しないで下さい。
ファイル名に新たに『_』『@』『_』『/』『』小文字などを追加使用しないで下さい。
当EXCELソフトは登録されているパソコンのユーザー名の“ハードディスクドライブのC”のホルダーでご使用下さい。










『簡単』へジャンプ ⇒ 

左の緑矢印を押して家族構成・職種などの入力(簡単シート)にお進みください

注:マクロを使用しない方は下の『タブ(シート名)』をご使用下さい

初期設定値 (インターネット接続後ご使用下さい)

【メニュー】

内容	下記の矢印をクリック	シート名
家族構成、職種などの入力 [必須]		簡単
収入と金融資産などの入力 [必須]		収入
支出関連(生活費・住宅ローンなど)の入力 [必須]		支出
年金・保険・支出などの詳細情報入力 [任意]		入力
年間収支・金融資産残高・ローン残高などの表示		図
ローン関連の表示		ローン
相続・贈与情報の入力		資産
質問票を使用時の入力		

支出を押す

使用上の制限条項、初期設定項目、自動計算項目はスクロールダウンすることにより閲覧できます。
FPキャプテンのご記入に役立つ【相談データ記入シート】は右側の「ここ」の文字をクリックして下さい。

[「ここ」](#)

ご連絡

[お問い合わせフォーム](#)

(WEB環境でご使用下さい)

【FPキャプテン・使用許諾契約】

【FPキャプテン・利用規約】

【FPキャプテン・改訂情報】

ご使用に当たり上記の文字をクリックして、【使用許諾契約】、【利用規約】、【改訂情報】などの全条項にご同意願います。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『支出』の現状が開きます

簡単作成用

注:『ライフプラン通常作成版』で使用した項目は、『ライフプラン簡単・収入・支出作成版』の変更を反映しません

印刷

(給与所得者 20歳～64歳で年収が120万円以上が対象) 肌色の部分の情報をご確認下さい。緑の部分にはオプションです
支出関連 1月1日～12月31日で計算します 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

肌色部分に入力。(現行家賃を修正しなければ自宅購入の場合において、その前年を入れます。) **緑色**は任意入力。 **棒線**は自動入力項目
 基本生活費とは食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等を指します。
 基本生活費が『0』の時は統計値を使用します。退職後の基本生活費は修正しなければ80%になります。
 人数反映が『1』の時は、家族数による統計値割合を乗じます。人数反映が『0』の時は、家族数に関係なく基本生活費を使用します。
 保険料は自動車以外の額を入力します。(保険料が2種類以上にわたる場合は入力画面で追加入力が可能です)
 自動車関連費の年額を入力するとそれに見合った自動車を購入します。(変更は入力画面で行います) **緑色**の横棒線を追加表示
 その他支出には、毎年発生する決められた支出の合計を入力します。
 住宅購入する場合の情報を入力します。今後の予定分でも過去の分でも入力します。住宅を購入しない場合は何も入れません

現状
(例1)

基本生活費(万円:年)	360	60歳後	288	変動率					
現行家賃	年額(万円)	0	最終年	30					
保険料	変動率	年額(万円)	保険終了年	自動車関連費	変動率				
		24			年額(万円)				
					0				
その他支出	変動率	年額(万円)			0				
住宅	自宅購入 (ローン)単位:万円	物件価格	金利タイプ	自宅購入年 初回借入年	借入金	初期年利	期間(年)	諸費用	メンテ費
		4,000	1	31	3,600	2.200%	29	200	40

『図』へお進みください

次へ 『メニュー』へ 『簡単』へ 『入力』へ 『情報』へ 『図』へ

注:マクロを使用しない方は下の『タブ』をご使用下さい

印刷

注:当EXCELは可処分所得・税金・社会保険等を概算で計算している為、多少の誤差があります。将来の推定値は近似式を採用しているため参考値として下さい。

下向き青色矢印または下の『比較グラフ作成』を押す

比較グラフ作成 ⇒ 変更(例2)のトップへはここをクリック

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『支出』の変更が開きます

次に進む

『メニュー』へ

『簡単』へ

『入力』へ

『情報』へ

『図』へ

注:マクロを使用しない方は下の『タブ』をご使用下さい

印刷

注:当EXCELは可処分所得を基準値として昇給・税額・社会保険等を概算で計算している為、多少の誤差があります。将来の推定値は近似式を採用しているため参考値として下さい。

↑ 支出関連 (給与所得者 20歳～64歳で年収が120万円以上が対象) 肌色の部分の情報をご確認下さい。 緑の部分はおプションです
 1月1日～12月31日で計算します 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

肌色部分に入力。(現行家賃を修正しなければ自宅購入の場合において、その前年を入れます。) 緑色は任意入力。棒線は自動入力項目
 基本生活費とは食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等を指します。
 基本生活費が『0』の時は統計値を使用します。退職後の基本生活費は修正しなければ80%になります。
 人数反映が『1』の時は、家族数による統計値割合を乗じます。人数反映が『0』の時は、家族数に関係なく基本生活費を使用します。
 保険料は自動車以外の額を入力します。(保険料が2種類以上にわたる場合は入力画面で追加入力が可能です)
 自動車関連費の年額を入力するとそれに見合った自動車を購入します。(変更は入力画面で行います) 緑色の横棒線を追加表示
 その他支出には、毎年発生する決められた支出の合計を入力します。
 住宅購入する場合の情報を入力します。今後の予定分でも過去の分でも入力します。住宅を購入しない場合は何も入れません

変更 (例2)

支出	基本生活費(万円:年)	360	60歳後	288	変動率	0.000%	変動率を入れる			
	現行家賃 年額:万円	0	最終年	30						
	保険料	変動率	年額(万円)	保険終了年	自動車関連費	変動率	年額(万円)	その他支出	変動率	年額(万円)
		0.000%	24	0		0.000%	0		0.000%	0
住居	自宅購入 (ローン)単位:万円	物件価格	金利タイプ	自宅購入年 初回借入年	借入金	初期年利	期間(年)	諸費用	メンテ費	
		4,000	1	31	3,600	2.200%	29	200	40	

注:家計の収入と支出、授業料、教育費、学習費、最低賃金、平均余命、国民年金、厚生年金等の平均受給額などの統計値の入手には最善を尽くしていますが、実際とは異なる場合があります。統計値を使用する場合はこの点をご承知下さい。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『変動率 = 0.7%』を入れる ⇒ 『支出』を押す

② 図を押す

次に進む 『メニュー』へ 『簡単』へ 『入力』へ 『情報』へ 『図』へ 印刷

注: マクロを使用しない方は下の『タブ』をご使用下さい

注: 当EXCELは可処分所得を基準値として昇給・税額・社会保険等を概算で計算している為、多少の誤差があります。将来の推定値は近似式を採用しているので参考値として下さい。

↑ 支出関連 (給与所得者 20歳～64歳で年収が120万円以上が対象) 肌色の部分の情報をご確認下さい。 緑の部分はおプションです

基準年 2015 基準年: 昨年末を計算の基準とします。 計算は開始年・終了年を含みます 出力の金額は該当年の年末の額です

1月1日～12月31日で計算します

肌色部分に入力。(現行家賃を修正しなければ自宅購入の場合において、その前年を入れます。) 緑色は任意入力。棒線は自動入力項目
 基本生活費とは食費・水道・光熱・通信・交通・医療・被服・雑費・小遣い・交際費等を指します。
 基本生活費が『0』の時は統計値を使用します。退職後の基本生活費は修正しなければ80%になります。
 人数反映が『1』の時は、家族数による統計値割合を乗じます。人数反映が『0』の時は、家族数に関係なく基本生活費を使用します。
 保険料は自動車以外の額を入力します。(保険料が2種類以上にわたる場合は入力画面で追加入力が可能です)
 自動車関連費の年額を入力するとそれに見合った自動車を購入します。(変更は入力画面で行います) 緑色の横棒線を追加表示
 その他支出には、毎年発生する決められた支出の合計を入力します。
 住宅購入する場合の情報を入力します。今後の予定分でも過去の分でも入力します。住宅を購入しない場合は何も入れません

変更 (例2)

支出	基本生活費(万円:年)	360	60歳後	288	変動率	0.700%				
	現行家賃 年額:万円	0	最終年	30						
	保険料	変動率	年額(万円)	保険終了年	自動車関連費	変動率	年額(万円)	その他支出	変動率	年額(万円)
		0.000%	24	0		0.000%	0		0.000%	0

住居	自宅購入 (ローン)単位:万円	物件価格	金利タイプ	自宅購入年 初回借入年	借入金	初期年利	期間(年)	諸費用	メンテ費
		4,000	1	31	3,600	2.200%	29	200	40

① 0.7%を入れる

注: 家計の収入と支出、授業料、教育費、学習費、最低賃金、平均余命、国民年金、厚生年金等の平均受給額などの統計値の入手には最善を尽くしていますが、実際とは異なる場合があります。統計値を使用する場合はこの点をご承知下さい。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

金融資産残高・現状グラフの表示

家族4名 自宅購入

現状：収支と金融資産

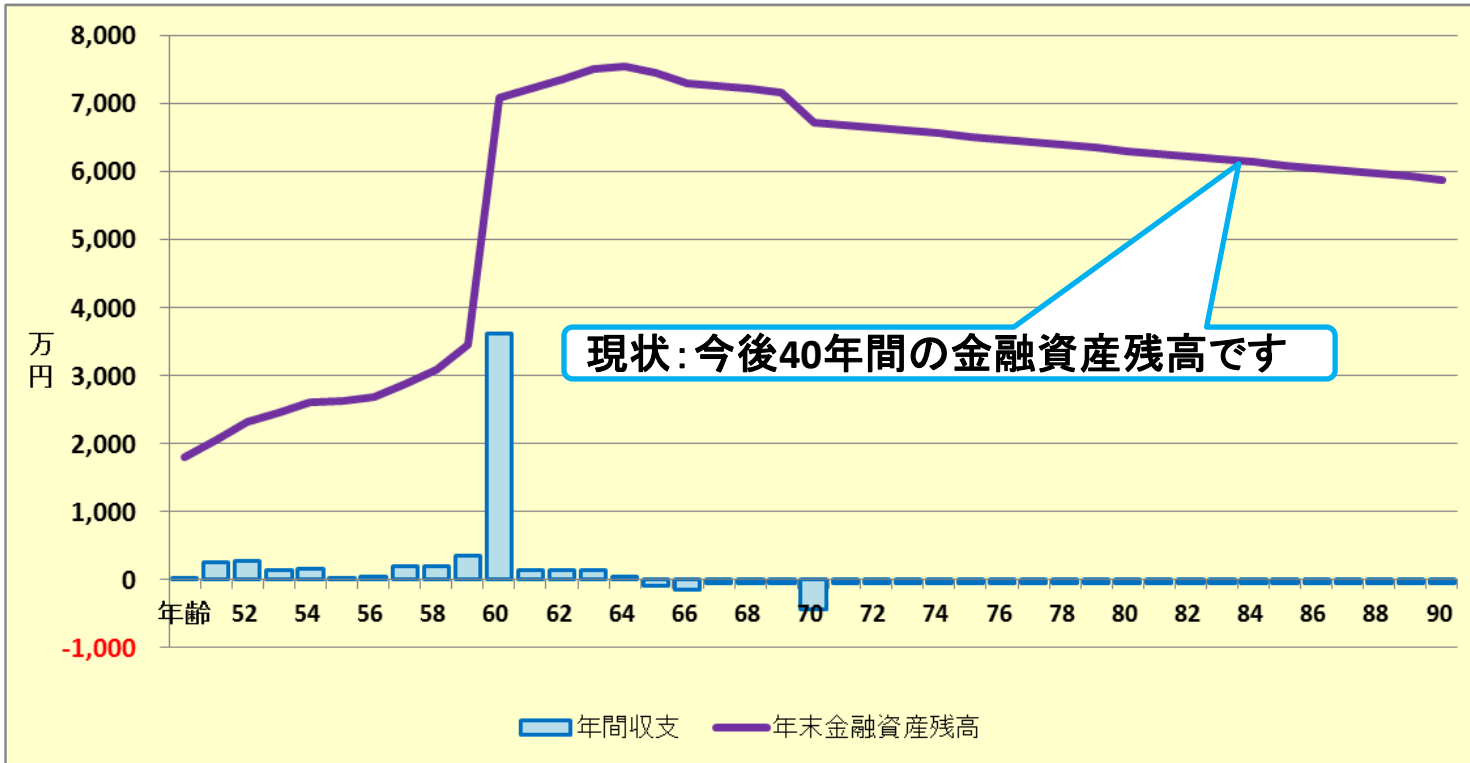
作成者 木村太郎

山田様

2016年2月13日

印刷 

- グラフの選択
- 現状：収支と金融資産
 - 現状：収支と金融資産
 - 現状：金融資産とローン
 - 変更：収支と金融資産
 - 変更：金融資産とローン
 - 現状：保険金と必要保障
 - 変更：保険金と必要保障
 - 年間収支比較
 - 金融資産比較



「変更：収支と金融資産」を押す

次へ 

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

金融資産残高・変更グラフの表示

家族4名 自宅購入

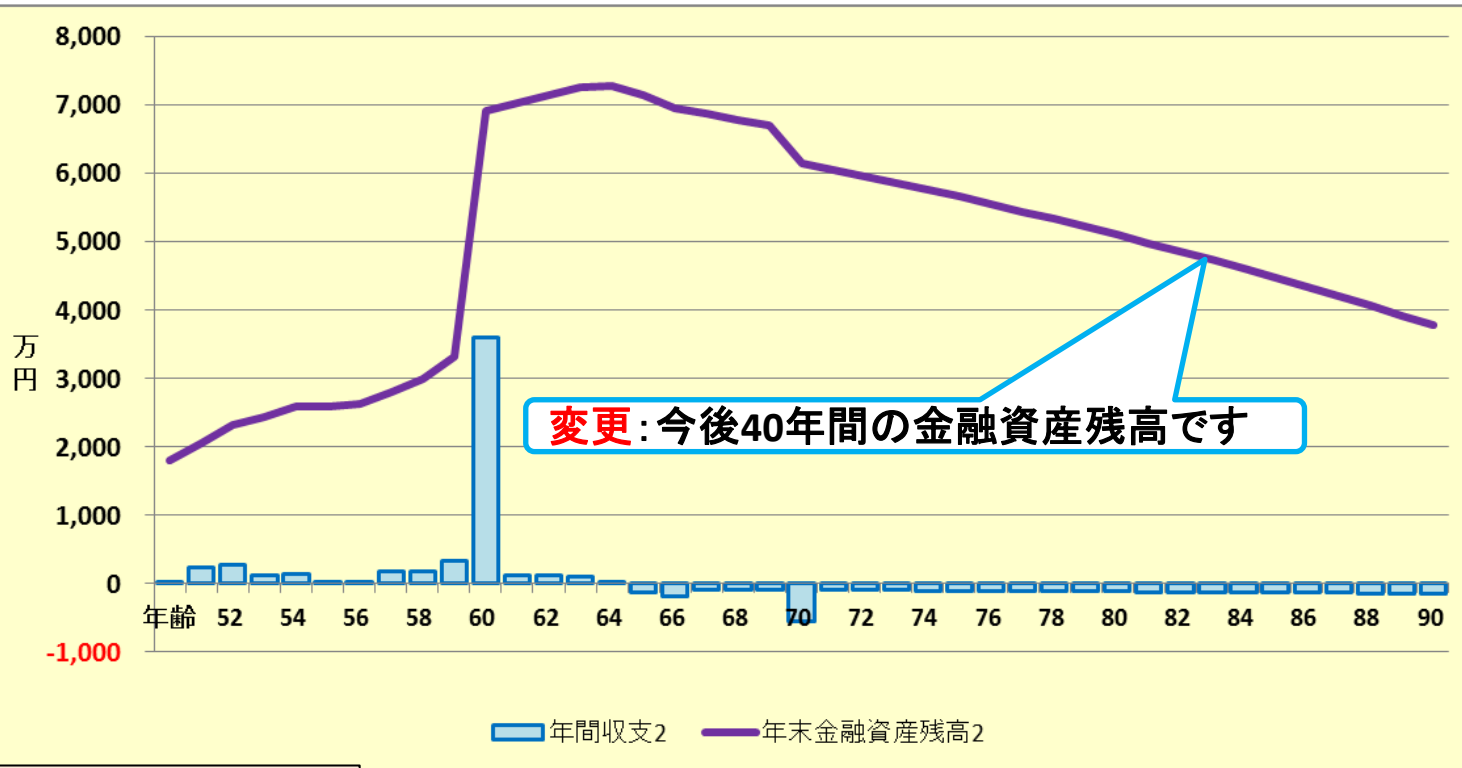
変更: 収支と金融資産

作成者 木村太郎
山田様

2016年2月13日

印刷

グラフの選択
変更: 収支と金融資産



赤印の次への矢印
を2回押す

次へ

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

金融資産残高・比較グラフの表示

家族4名 自宅購入

キャッシュ2の矢印を押す

次に進む⇒

『メニュー』へ

『入力』

『ローン』へ

『キャッシュ』

『キャッシュ2』

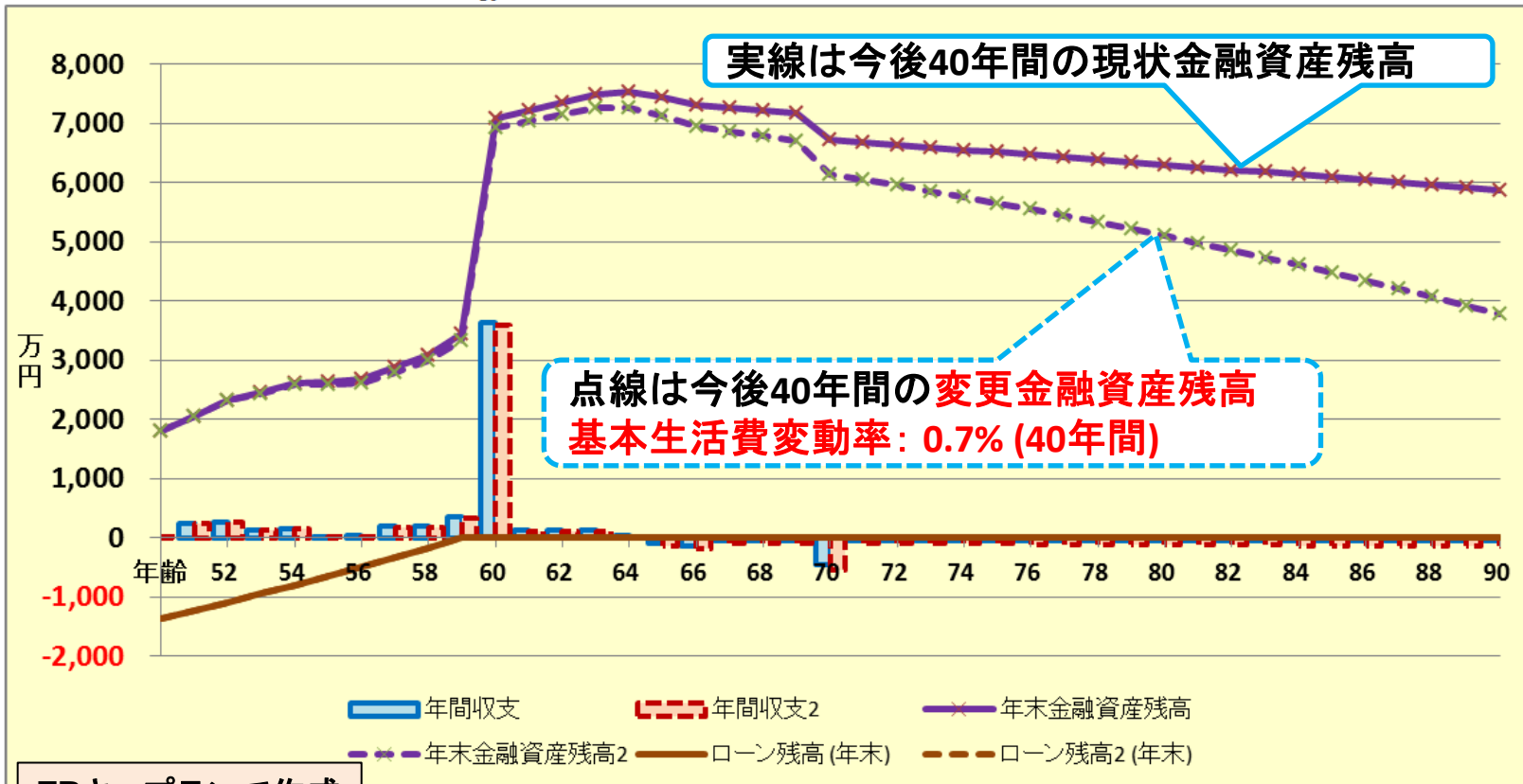
『情報』へ

キャッシュフローチャート 一括比較

山田様

2016年2月13日

印刷



他へ ↑

次へ ↓

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『変更: キャッシュフローの表示』

家族4名 自宅購入

「総収支」を押します

次に進む⇒『資産』へ		『入力』へ	『図』へ	『ローン』へ	『総収支』へ	『キャッシュ』へ	『情報』へ	印刷								
変更(例2:Input2)		変更のキャッシュフロー表(単位:万円)			山田様	2016年2月13日	行列番号表示	作成者								
経過年数	基準年⇒	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
西暦		2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027		
ライフイベント		家族・夫婦予定										退職				
		子供予定	1子高	2子高	1子文	2子文										
収入	可処分所得	達也様	3.460%	792	817	843	843	843	843	843	843	843	481	483	484	
	可処分所得	奈々様	0.000%	100	100	100	100	100	100	100	100	100	0	0	0	
	可処分所得	退職金	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,490	0	0	
	ローン借入金			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	副収入: 企業年金: 一時的: 注	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
2	その他: ローン控除: 個年金: 注	0.000%	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
収入合計2(可処分所得)			898	923	943	943	943	943	943	943	943	943	4,071	483	484	
支出	基本生活費	0.700%	360	363	365	368	370	373	375	372	374	372	299	302	304	
	住居費(ローン以外)	0.700%	240	40	41	41	41	41	42	42	42	43	150	43	43	
	教育費	0.000%	84	84	77	216	191	330	306	153	153	0	0	0	0	
	保険料	0.000%	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	
	自動車関連費	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一時的支出	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	2	その他支出: 年金積立	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	支出小計2			708	510	507	649	627	769	747	591	593	438	474	369	371
	ローン返済代+諸費用			168	168	168	168	168	168	168	168	168	168	0	0	0
	2		使途不明金2	0.000%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計2			876	679	675	817	795	937	915	759	761	606	474	369	371	
年間収支2		1,778	22	244	268	126	148	6	28	184	181	336	3,597	114	113	
年末金融資産残高2		1,800	0.000%	1,800	2,044	2,312	2,438	2,586	2,593	2,621	2,805	2,986	3,323	6,920	7,034	7,147
ローン残高2(年末)			1,371	1,232	1,089	944	795	643	487	328	166	-0	0	0	0	

児童手当受給額+すまい給付金 万円 6 6 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『収支比較 (昨年と来年)』

2年後は**教育費**が減ることが分かります。

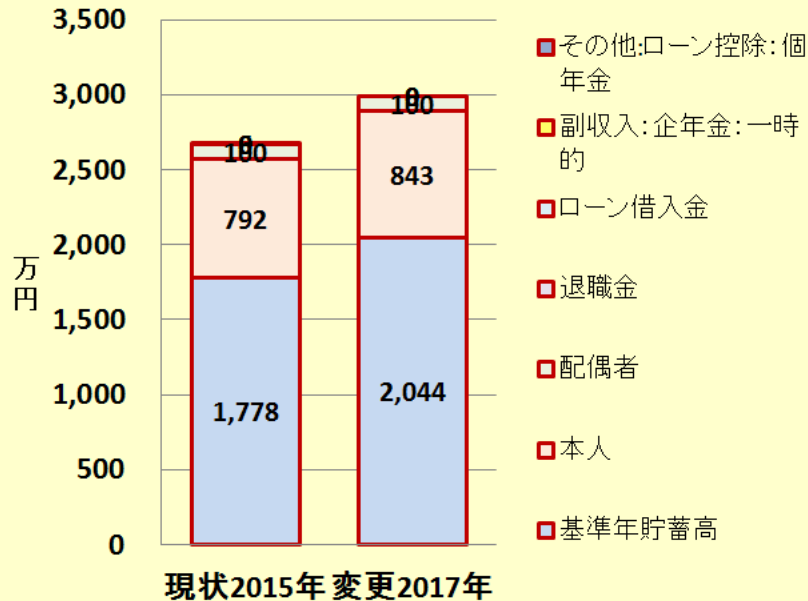
収支内訳

山田様

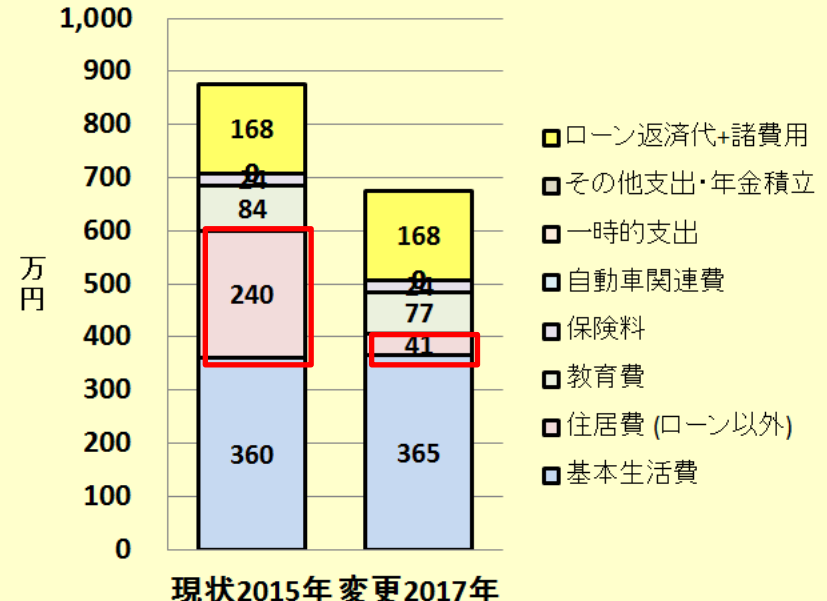
2016年2月13日

作成者 木村太郎

可処分所得



支出



次へ

青色の下向き矢印を押します。

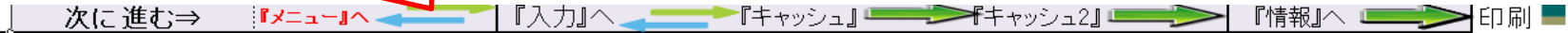
FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『収支比較 (40年間)』

平均「0.7%」の物価上昇で基本生活費が相当増加することが分かります

メニューの矢印を押して最初に戻ります

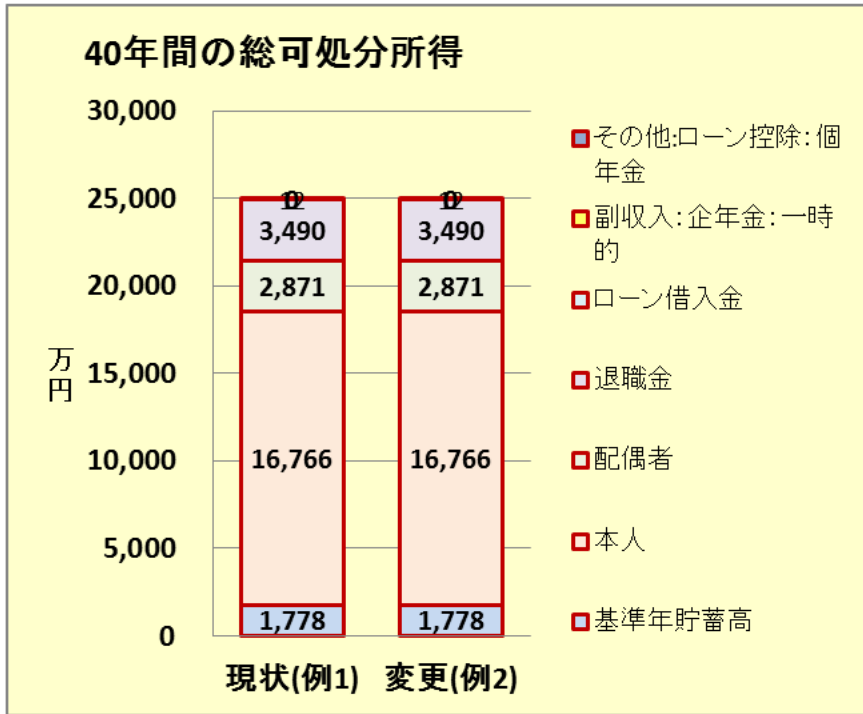


40年間の収支内訳

山田様

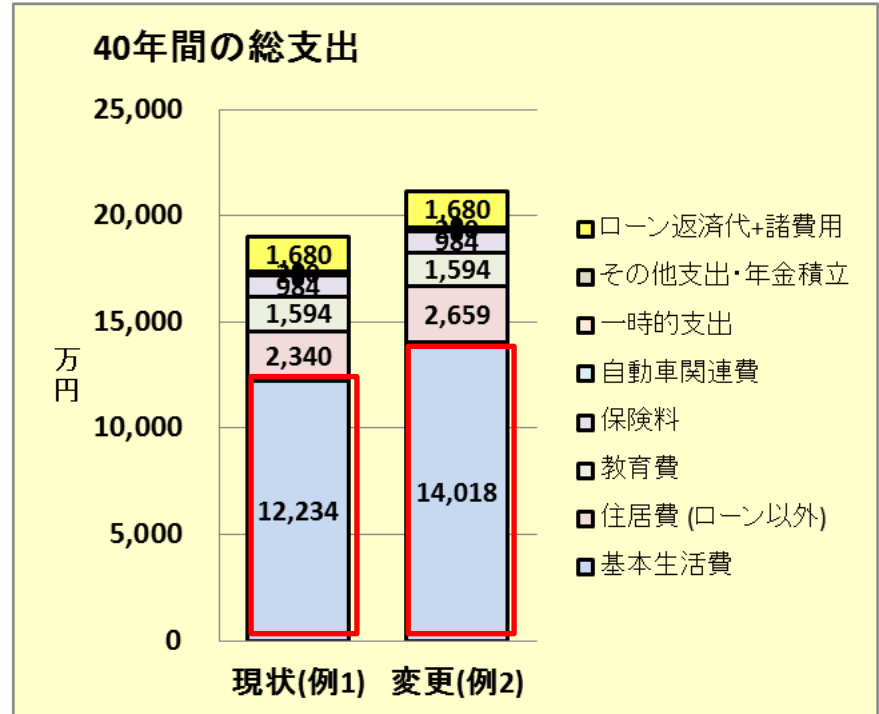
2016年2月13日

作成者 木村太郎



現状(例1) 24,916

変更(例2) 24,916



現状(例1) 19,033

変更(例2) 21,136

FPキャプテンで作成

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

例題3：『相続税』を確認します

現状(例1)を使用して相続税を確認します

注：FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

課税明細書の見方 ① 土地の場合 - 横浜市

課税明細書の見方 ① 土地の場合

所在・地番
土地の場所を表しています
※住居表示の住所とは異なります。

課税地積
課税している土地の
広さ(面積)です。

負担水準
「住宅用地の区分」ごとに、固定資産税の
「本則課税標準額」に対する「前年度課税
標準額」の割合(負担水準)を表示していま
す。

住宅用地の区分

小:小規模住宅用地
200㎡以下の部分は、
特例率 固定資産税 1/6
都市計画税 1/3
となります。

一:一般住宅用地
200㎡を超える部分は、
特例率 固定資産税 1/3
都市計画税 2/3
となります。

非:非住宅用地
住宅以外の敷地や空地
固定資産税、都市計画税と
も特例率はありません。

平成26年度 課税明細書

所有者氏名		所在・地番		負担水準又は家屋番号		横浜 太郎 様分	
① 地目	② 課税地積 床面積(㎡)	③ 前年度固定資産税 (比準)課税標準額(円)	④ 固定資産税 本則課税標準額(円)	⑤ 固定資産税 課税標準額(円)	⑥ 固定資産税課税額(円)	⑦ 前年度都市計画税 (比準)課税標準額(円)	⑧ 都市計画税 本則課税標準額(円)
土地	160.00	3020000	3220949	3181047	44534	6362896	6441899
宅地(小規模)	160.00	3020000	3220949	3181047	44534	6362896	6441899
宅地(非宅地)	19325697	6362896	6441899	6441899	19325		
土地	160.00	3020000	3220949	3181047	44534	6362896	6441899
宅地(小規模)	160.00	3020000	3220949	3181047	44534	6362896	6441899
宅地(非宅地)	19325697	6362896	6441899	6441899	19325		

価格
土地の評価額です。

前年度(比準)課税標準額
「25年度の課税標準額」です。26年度の固定資産税・都市計画税を算出するために用います。

本則課税標準額
「本来の課税標準額」という意味で、原則として「価格」となります。ただし住宅用地のように、課税標準の特例が適用されている場合は、「価格×特例率」となります。

課税標準額(左)、税相当額(右)
左側(④、⑤)の「課税標準額」に税率(固定資産税 1.4%、都市計画税 0.3%)を乗じたものが、右側(⑥、⑧)の税相当額となります。
※端数処理の関係上、実際の税額とは一致しません。

現況地目
1月1日現在の「現況地目」と「住宅用地の区分」を表しています。

出典 : www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/citytax/shizei/.../meisai-1.pdf

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

相続税の状況を知りたい方

不動産を入力します

注：前ページの課税明細書の見方とは値が違います。

② 必ず『住居形態』を選択して下さい

財産目録(本人用)	基準年	2015	相続人数	3
当結果を相続税の計算に用出来ません。また税理士でない方が特定のお客様の個別の相続税の取り扱いと法律にふれるおそれがあります。			1	2

不動産(本人用) 有分					固定資産の課税明細書(概算値計算) 単位:円					小規模宅地等の評価減(※)			
種類	住居形態	資産	種別	借地(家)権割合	持分×(割合)	課税地積(㎡)(注1)	床面積	価格(評価額)(円)(注2)	登記簿の全体又は本則課税標準額(注3)	登記簿の持分又は課税標準額(注4)	時価修正	公示価格に換算(本人の持分)	変動率
自宅	2	土地	0	100%	100%	200.00		¥60,000,000	¥0	¥0	100%	¥85,714,286	4.000%
		家屋	2	100%	100%	140.00		¥8,000,000			100%	¥8,000,000	-6.000%
貸家(地)		土地		21%	100%				¥0	¥0	100%	¥0	
		家屋		30%	100%						100%	¥0	
				21%	100%				¥0	¥0	100%	¥0	
										¥0	100%	¥0	
										¥0	100%	¥0	
										¥0	100%	¥0	
				30%	100%					¥0	100%	¥0	
別荘(他)		土地		100%	100%				¥0	¥0	100%	¥0	
		家屋		100%	100%						100%	¥0	
				100%	100%				¥0	¥0	100%	¥0	
				100%	100%				¥0	¥0	100%	¥0	

③ 固定資産是課税明細書を使用して不動産の情報を
入力します。通常「肌色」部分のみでお願いします。

④ 青矢印を押して、動産も同じように入力します。

① 『資産』シート・タブを押して表示します

注：FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

他の情報を入力します

動産を入力します

動産(本人所有分)

単位:円

キャッシュフロー表に反映しません

種類	名称	購入価格	購入時期(年)	時価 または 車両(車体)保険金	持分	本人の時価	変動率
					100%	¥0	
4				¥1,500,000	100%	¥1,500,000	-4%
5				¥2,500,000	100%	¥2,500,000	5%
6				¥5,000,000	100%	¥5,000,000	3%
7				¥5,500,000	100%	¥5,500,000	4%
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	
					100%	¥0	

② 必ず適切な『番号』を選択して下さい

③ 詳細情報を入力します

① 下へスクロールして項目を探し入力します
④ 入力完了しましたら、更に下にスクロールして他の資産を入力します

注: 適切な『種類』を入力すると財産目録の資産に反映します

注: FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

他の情報を入力します

保険・退職金の場合です。他の情報も同様に入力します

死亡保険金・解約返戻金(本人契約分) 単位:円 キャッシュフロー表に反映しません

種類	名称	契約額	保険料負担者区分	被保険者・区分	保険金受取人区分	死亡保険金	解約返戻金	本人持分	相続税対象額	変動率
1	A生命保険		9	9	8	¥20,000,000	¥6,000,000	100%	¥20,000,000	
1	B生命保険		9	9	1	¥10,000,000	¥3,000,000	100%	¥10,000,000	
1	C生命保険		9	9	2	¥10,000,000	¥3,000,000	100%	¥10,000,000	
								100%	¥0	
								100%	¥0	
								100%	¥0	
1	生命保険金の選択(ここを押す)		9	9	8	¥0		100%	¥0	

① 必ず適切な『番号』を選択して下さい

② 詳細情報を入力します

注: 適切な『種類』を入力すると...反映します 一般的は保険契約に基づきます

③ 注: 『入力』シートの保険を反映できます。
 新しい版の場合、左の『入力シート』を選択します。この選択肢が無い場合には『相続』シートの資産の相続税のバランスシート内のキャッシュフロー金融資産に「1or2」を入れます。

死亡退職金・弔慰金(予定:本人受取分) キャッシュフロー表に反映しません

種類	名称	退職金・弔慰金	弔慰金非課税限度額	変動率

②” 詳細情報を入力します

注: 適切な『種類』を入力すると財産目録の資産に反映します

①” 必ず適切な『番号』を選択して下さい

参照: 相続シート内キャッシュフロー金融資産

本人の相続財 単位:円

本人の資産	相続額(於計算年)	控除額*注2	小計	相続額
本来の相続財産				¥113,297,637
不動産*注1	¥105,811,386	¥81,201,972	¥24,609,414	
動産	¥17,914,536		¥17,914,536	
資産に計上の現金・預貯金	¥0		¥0	
その他の金融資産と解約返戻金	¥0		¥0	
キャッシュフロー金融資産*注2	¥70,773,686		¥70,773,686	
みなし相続財産				¥25,000,000
死亡保険金(受取人固有の財産)				
死亡退職金				
弔慰金(非課税額以上は死亡退職金へ移)				
相続時精算課税適用財産額				¥0
3年以内の生前贈与加算額				¥0
				¥138,297,637

注1:不動産の相続額は推定値ですので税務署に
 注2:『入力シート』の『キャッシュフロー』と『生命保険』の相続情報反映
 税理士でない方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください
 0:『キャッシュフロー』と『生命保険』のデータを使わない
 1:『キャッシュフロー 1』と『生命保険 1』のデータを使用
 2:『キャッシュフロー 2』と『生命保険 2』のデータを使用
 なお、相続人の年齢と数は、上記の『入力』のデータを使用します。

注: FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

相続時精算課税制度と贈与の入力



相続時精算課税制度(本人贈与分)

対象年齢の子供を記載願います。(年齢確認をしていません)

順番	区分	受贈者	贈与年	贈与財産額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

贈与額は資産から自動的に削除しません。

並替後情報保管 贈与税表示

必ず適切な『番号』を選択して下さい

贈与(本人贈与分)

贈与額は資産から自動的に削除し

順番	区分	受贈者	贈与年	贈与財産額	参考:贈与税額	入力:贈与税額	贈与税名	非課税額
1	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
2	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
3	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
4	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
5	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
6	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
7	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
8	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
9	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
10	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
11	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
12	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
13	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
14	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0
15	0			¥0	¥0	¥0	0	¥0

並替後情報保管 贈与税表示

登録 簡単 収入 支出 入力 情報 図 ローン キャッシュ キャッシュ2 総収支 家計簿 ダイヤモンド

注: FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

相続時精算課税制度と贈与の結果

相続時精算課税、贈与、生前贈与などの額が表示されます

当結果を相続税の申告に使用出来ません。また税理士でない方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがあります。

参考資料	相続税計算年(西暦)	2038	配偶者	子1	子2	子3	子4	子5	合計
相続時精算課税制度	贈与額合計(含む非課税)		¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	贈与税合計		¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
生前贈与対象期間 *	贈与額合計(除<非課税分)		¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	贈与税合計:(注意*)		¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
上記以前の期間 *	贈与額合計(除<非課税分)		¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
	贈与税合計:(注意*)		¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0

注: 贈与税は、平成27年(西暦2015)以降対応の20歳以上の直系尊属で計算しています。

次ぐに進む 『入力』へ ⇒ ← 『相続』へ →

注: マクロを使用しない方は下の『タブ』をご使用下さい

登録 簡単 収入 支出 入力 情報 図 ローン キャッシュ キャッシュ2 総収支 家計簿 ダイヤモンド 所得 所得2 資産 相続



相続シートタブを押して相続額を確認します

注: FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

相続人の確認

③基準年の年齢がを確認します

②相続税を計算する年(西暦)を入れます

本人の資産の状況による相続税

Excel 2007 以上に対応
2015年度1月施行法令を適用
肌色部分に出来る限りの入力を

キャッシュフロー表と分離しても使用

© 2014 http://webstage21.com All Right reserved

次ぐに進む 『入力』へ 『資産』

FPキャプテンで作成

基準年	2015	相続額計算年	2025
-----	------	--------	------

相続税の状況

当結果を相続税の申告に使用出来ません。また別の個別の相続情報を取り扱いますと法律にふれる

下記の結果を相続税として申告出来ませ

相続情報

配偶者以外の相続人が兄弟姉妹甥姪だけの場合は『1』⇒
(子・孫・両親・祖父・祖母がいない場合)

基準年・年末年齢	本人(本人)	配偶者 ↓	子(1) ↓	子(2) ↓	子(3) ↓	子(4) ↓	子(5) ↓
基準年 2015	自動	50	49	16	14	-1	-1
	入力	50	49	16	14		
	相続人年齢		孫 ⇒				
			孫 ⇒				
			孫 ⇒				
			孫 ⇒				
			孫 ⇒				
	小規模宅地等の特例適用者 = 1		1	1	1	1	1

④代襲相続の場合は孫の年齢を入力します

⑤青の矢印を押して他の項目を見ます

年齢を修正・追記する場合は上記の表の『肌色部分』をお願いします。 実存しない場合『-1』又は『-888』と表示することがあります。

一次相続人数	配偶者	子供(含代襲相続)	小規模宅地適用	父母	兄弟姉妹(含代襲)
3	1	2	2	0	0

メニュー 簡単 収入 支出 入力 情報 図 ローン キャッシュ キャッシュ2 総収支 家計簿 ダイヤモンド 資産 相続 提案書 係数

年齢の入れ方

①『相続』シートを開きます

- ・存在しない場合は削除(何も記入しない)または『-888』
- ・死亡者は『777』と記入
- ・10年後に出生する場合は、『-10』のようにマイナスを付けて記入

注: FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

相続税のバランスシート確認

キャッシュフローの情報を使用する場合は、キャッシュフローの番号『1 or 2』を入力します。

本人の相続財産 本人の資産

単位: 円

	相続額(於計算年)	控除額*注2	小計	相続額
本来の相続財産				¥113,297,637
不動産*注1:	¥105,811,386	¥81,201,972	¥24,609,414	
動産	¥17,914,536		¥17,914,536	
資産に計上の現金・預貯金	¥0		¥0	
その他の金融資産と解約返戻金	¥0		¥0	
キャッシュフロー金融資産*注2	1 ¥70,773,686		¥70,773,686	
みなし相続財産				¥25,000,000
死亡保険金(受取人固有の財産)	¥40,000,000	¥15,000,000	¥25,000,000	
死亡退職金	¥0	¥0	¥0	
弔慰金(非課税額以上は死亡退職金へ移管)	¥0	¥0	¥0	
相続時精算課税適用財産額	¥0			¥0
3年以内の生前贈与加算額	¥0	¥0	¥0	¥0
			資産合計	課税価格 ¥138,297,637

控除額: 自宅
¥81,201,972

注: 世帯合計の金融資産残高を代用として使用します。

* 注: 贈与年を年始、相続年を... 相続開始3年以内の判断が...

相続財産です

単位: 円

本人の負債

	負債額(於計算年)	負債額
ローン残高(キャッシュフロー上と資産の合計)*注3	¥0	¥0
資産に計上のその他負債/費用	¥0	¥0
資産に計上の葬儀費用	¥0	¥0
		負債合計 ¥0

注3: キャッシュフロー上のローン残高は資産の欄と連動しています

相続財産	¥234,499,609
控除額	¥48,000,000
遺産に係る基礎控除額	¥48,000,000

FPキャプテンで作成

	総相続額	控除額	課税遺産総額	相続税の総額
相続税計算(概算) 法定相続分に応じる計算	¥153,297,637	¥63,000,000	¥90,297,000	
分割財産 (除く: 死亡保険金と生前贈与加算)	¥194,499,609			配偶者の税額軽減前の相続税の総額→ ¥12,801,900

『入力』欄で修正しない場合の相続人の年齢と数は『例1(キャッシュフロー1)』を使用します

注: FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のおお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

各人の相続税

②各人の配分率を変える場合はこの行に入力。何も入れない時は法定相続で配分

2015年度1月施行法令を適用

相続税計算(概算)		相続する子供の人数にあわせて(1)~(5)の順に配分率を入れる					
相続人	配偶者	子(1) 孫	子(2) 孫	子(3) 孫	子(4) 孫	子(5) 孫	
配分率(未入力=法定): 子供のみ適用	自動計算						
相続年 2025 相続時年齢	59	26	24				
法定相続分(%除く:死亡保険金・生前贈与加算)	50.00%	25.00%	25.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
新配分率(%除く:死亡保険金・生前贈与加算)	50.00%	25.00%	25.00%	0.00%	0.00%	0.00%	
受取総額(相続額他 下記内訳参照*)	¥117,249,804	¥58,624,902	¥58,624,902	¥0	¥0	¥0	
相続税額(軽減・控除前注*)	¥6,400,988	¥3,200,494	¥3,200,494	¥0	¥0	¥0	
未成年者控除(人*年数)	0	0	0	0	0	0	
未成年者控除額	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
完了納付額 相続時精算課税	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0	
納付すべき相続税	¥0	¥3,200,400	¥3,200,400	¥0	¥0	¥0	
額 相続額(代襲:孫当り目安)		¥0	¥0		¥0	¥0	
税 今回相続税(代襲:孫当り目安)		¥0	¥0		¥0	¥0	
*内訳	相続額(財産)	受取総額	¥97,249,804	¥48,624,902	¥48,624,902	¥0	¥0
	死亡保険金	受取総額	¥20,000,000	¥10,000,000	¥10,000,000	¥0	¥0
	生前贈与(加算)	除非課税分	¥0	¥0	¥0	¥0	¥0
参考	(相続時精算課税)	受取総額					

①相続額概算、相続税概算などが参考として表示されます

贈与額(相続時精算課税制度を含む)は資産から自動的に削除していません。

注 当結果を**相続税の申告に使用出来ません**。また税理士でない方が特定のお客様の個別の相続情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがあります。これらの値はあくまでも**概算**です。特に土地を固定資産税評価額で代用した場合は修正が必要となります。税額計算は税務署並びに税理士にお問い合わせください。 [寄付金](#)、[障害者控除](#)などの未対応部分に関しては[ココをクリックして利用規約を確認下さい](#)。配偶者と子供の両方がいない場合は、税務署などにお問い合わせください。 *1 配偶者税額軽減前と未成年者控除前の額法定相続で分割した場合です。 キャッシュフローと連携した場合の相続人の数は『例1(キャッシュフロー-1)』を使用します。配偶者の**税額軽減**を適用する場合は、最大限適用した場合は。 **配偶者の税額軽減後(1) ⇒ 1**

FPキャプテンで作成

注: FP(ファイナンシャル・プランナー)の方が特定のお客様の相続や資産情報を取り扱いますと法律にふれるおそれがありますのでご注意ください

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

例題4： 提案書作成

- リタイアメント後の生活に関して
- 相続対策は必要か

提案書の作成

下のシートタブで『提案書』を開きます



FPキャプテン

作成日: 平成 28年 2月 13日
 基準日: 平成 27年 12月 31日

山田様

リタイアメントに関するご提案書

②タイトルを入れます。
「…に関する…」と入れます。

全印刷

固定部分

印刷

自由作成エリアへ

赤線の右側は説明エリアです印刷しません

図形挿入領域
N8～S18

注: 数式バーの表示・非表示
([ツール]⇒) [表示]タブ ⇒ [数式バー]で

注: タイトルに「…に関する…」とある場合「…」

図形挿入領域
E25～R32

次へ

③次への下向き矢印を押します。

目次の確認

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

目次	1
1 始めに	2
2 山田家のプロフィール	
① 家族構成	3
② 昨年の収入と支出	3
③ 金融資産	4
④ 個人積立年金・個人積立保険	5
⑤ 生命保険	5
⑥ 年金	5
⑦ バランスシート	6
3 プラン作成にあたってのご希望	
① 山田家のライフイベント表	7
② 山田家の希望	8
③ 山田家のファイナンシャル・ゴール	8
4 今後の収入・支出の状況と問題点	
① 山田家のキャッシュフロー表(現状)	9
② キャッシュフロー表上の問題点	10
5 FPの提案内容	11
6 提案の効果	12
7 終わりに	13

印刷 

注: 番号は省略または他の印等に置き換えら
初期設定ではページは下の内容とリンク

図形挿入領域
N39~R62

前へ 

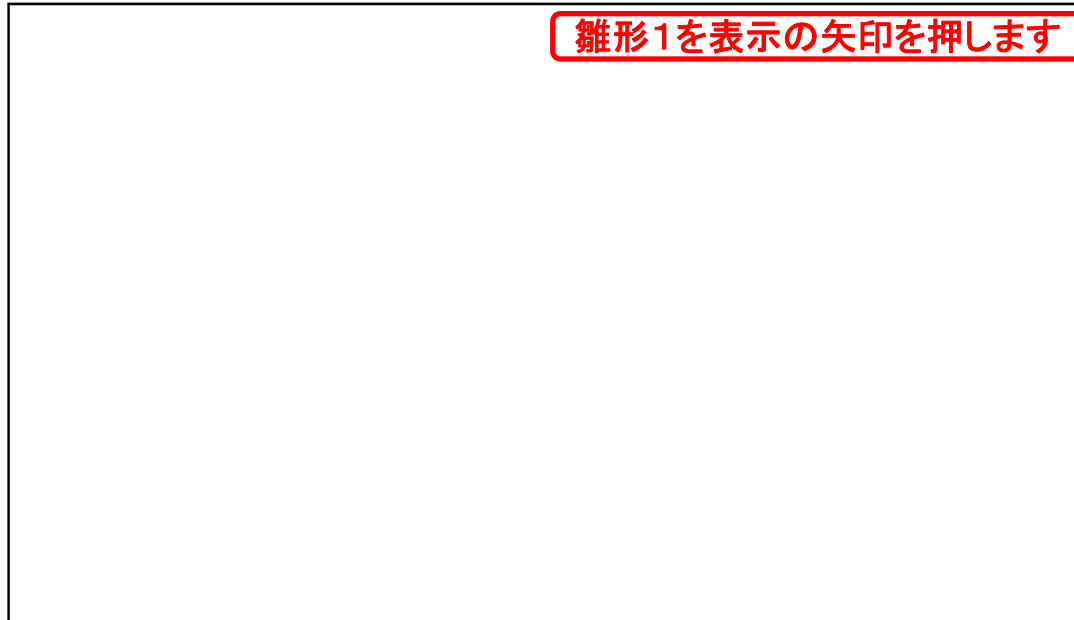
次へ 

次への下向き矢印
を押します。

『始めに』を開きます

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

1 始めに



雛形1を表示の矢印を押します

印刷 

 雛形1を表示

始めには次の項目をご入力下さい
ご挨拶
プラン作成に当たって
前提条件
ご提案の要旨

注 「Enter」キー後のセルの移動方向の
Excelの左上の「ファイル」を
「情報」を選択
「オプション」を選択
「Enterキーを押した後にセ
「方向」でご自分に合った方

前へ 

次へ 

住所: 

氏名: 

署名: 

電話: 

E-mail: 

2

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『雛形2』を開きます

右側の右向き緑矢印を押すか、右へスクロールします。

雛形1

➡ 雛形1を上書きします

雛形2を表示の矢印を押します

➡ 雛形2を表示

この度は、山田様のリタイアメントに関するプランニングにご相談頂きまして、誠にありがとうございます。

お伺い致しました夢やご意向をもとに、様々な角度からライフプランの分析を行い、その改善策などをご提案させて頂いております。

本提案書は、特に以下の点に考慮して作成致しました。

- (1) 住宅資金計画に問題はないか。
- (2) お子様の教育費等の資金の確保は十分か。
- (3) 老後の生活に支障はないか。

戦後70年、日本の姿も大きな変貌を遂げました。これからの数十年間で、どのような姿になるかは誰もが予測しえない事でしょう。

山田様におかれましては、しっかりとご自分の人生を見据えた素晴らしい夢や計画をお持ちのこととしますので、本提案書が山田様の今後の生活設計のご参考になりましたらと考えております。

ご提案させて頂きましたプランに関して、ご希望やご不明な点が御座いましたら、遠慮なくお申し付け下さい。

平成28年2月13日

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『雛形2』を開きます

右側の右向き緑矢印を押すか、右へスクロールします。

雛形2

シニアライフプラン

雛形2を上書きします

雛形3を表示

“雛形2を上書きします”の左の赤矢印を押します

この度は、ライフプランの作成依頼を頂きまして、誠に有難うございます。

余裕があるとは言い難い中から、多額の相談料をお支払頂き恐縮ですし、感謝の気持ちと共にFPとして身の引き締まる思いがいたします。

今回、私達は資産設計、資産管理のプロとして山田様のご希望に基づき、山田様ご自身の心配や不安を少しでも取り除き、定年退職後により豊かで安心した快適な第二の人生を送って頂く事を基本として、ファイナンシャルプランの作成をさせて頂きたいと思っております。

資産の見直し、保険設計など様々な角度から問題点を分析し、山田様にとって最適と思われるプランの作成を行ってまいります。

このプランが山田様にとって価値のあるプランであると共に、今後の実りある人生の参考の一つとして考えて頂ければ幸いです。

平成28年2月13日

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『雛形3』をコピーします

1 始めに

この度は、ライフプランの作成依頼をいただき誠にありがとうございます。ご希望に基づき、山田様ご自身の心配や不安を少しでも取り除き、定年退職後により豊かで安心した快適な第二の人生を送って頂く事を基本として、ファイナンシャルプランの作成をさせて頂きたいと思っております。

資産の見直し、保険設計など様々な角度から問題点を分析し、山田様にとって最適と思われるプランの作成を行ってまいります。このプランが山田様にとって価値のあるプランであると共に、今後の考えて頂ければ幸いです。

平成28年2月13日

住所:
氏名:
署名:
電話:
E-mail:

「Enter」キー後のセルの移動方向の変更に関するご希望に基づき、山田様ご自身の心配や不安を少しでも取り除き、定年退職後により豊かで安心した快適な第二の人生を送って頂く事を基本として、ファイナンシャルプランの作成をさせて頂きたいと思っております。

Excelの左上の「ファイル」を開く「情報」を選択「オプション」を選択「Enterキーを押した後にセルを移動」方向でご自分に合った方向を選択

雛形 2 を提案書にコピーしました

OK

OKを押します

印刷

雛形1を表示

始めには次の項目をご入力下さい
ご挨拶
プラン作成に当たって
前提条件
ご提案の要旨

注 「Enter」キー後のセルの移動方向の変更
Excelの左上の「ファイル」を開く
「情報」を選択
「オプション」を選択
「Enterキーを押した後にセルを移動」方向でご自分に合った方向を選択

前へ

次へ

2

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『雛形2』が『始めに』にコピーされました

1 始めに

この度は、ライフプランの作成依頼を頂きまして、誠に有難うございます。

余裕があるとは言い難い中から、多額の相談料をお支払頂き恐縮ですし、感謝の気持ちと共にFPとして身の引き締まる思いがいたします。

今回、私達は資産設計、資産管理のプロとして山田様のご希望に基づき、山田様ご自身の心配や不安を少しでも取り除き、定年退職後により豊かで安心した快適な第二の人生を送って頂く事を基本として、ファイナンシャルプランの作成をさせて頂きたいと思っております。

資産の見直し、保険設計など様々な角度から問題点を分析し、山田様にとって最適と思われるプランの作成を行ってまいります。
このプランが山田様にとって価値のあるプランであると共に、今後の実りある人生の参考の一つとして考えて頂ければ幸いです。

①必要があれば修正します

平成28年2月13日

FPキャプテンで作成

住所: 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第1安田ビル7階

氏名: 木村太郎

署名:

電話: 045-315-0121

E-mail: info@fp-kanagawa.com

2

印刷

雛形1を表示

始めには次の項目をご入力下さい
ご挨拶
プラン作成に当たって
前提条件
ご提案の要旨

注 「Enter」キー後のセルの移動方向の変更
Excelの左上の「ファイル」を開く
「情報」を選択
「オプション」を選択
「Enter」キーを押した後にセルを移動
「方向」でご自分に合った方向を

前へ

次へ

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『雛形2』が『始めに』にコピーされました

1 始めに

この度は、ライフプランの作成依頼を頂きまして、誠に有難うございます。

多額の相談料をお支払頂き恐縮ですし、感謝の気持ちと共にFPとして身の引き締まる思いがいたします。

今回、私達は資産設計、資産管理のプロとして山田様のご希望に基づき、山田様ご自身の心配や不安を少しでも取り除き、定年退職後により豊かで安心した快適な第二の人生を送って頂く事を基本として、ファイナンシャルプランの作成をさせて頂きたいと思っております。

資産の見直し、保険設計など様々な角度から問題点を分析し、山田様にとって最適と思われるプランの作成を行ってまいります。
このプランが山田様にとって価値のあるプランであると共に、今後の実りある人生の参考の一つとして考えて頂ければ幸いです。

平成28年2月13日

FPキャプテンで作成

住所: 横浜市神奈川区鶴屋町2-21-8 第1安田ビル 7F

氏名: 木村 太郎

署名:

電話: 045-315-0121

E-mail: info@fp-kanagawa.com

2

②住所などを記入
します

印刷

➡ 雛形1を表示

始めには次の項目をご入力下さい
ご挨拶
プラン作成に当たって
前提条件
ご提案の要旨

注 「Enter」キー後のセルの移動方向の変更
Excelの左上の「ファイル」を開く
「情報」を選択
「オプション」を選択
「Enterキーを押した後にセルを移動」
「方向」でご自分に合った方向を

前へ

次へ

③次への下向き矢
印を押します。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『プロフィール』を確認します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

2 山田家のプロフィール

① 家族構成

家族情報	名前	年齢 年末	生年月日
本人	達也様	50	1965年
配偶者	奈々様	49	1966年
第一子	佐奈様	16	1999年
第二子	大空様	14	2001年
第三子			
子(父)			
子(母)			

② 昨年の収入と支出

単位:万円

収入	税込年収	退職金	副収入	年金
本人	1,100	3,714	0	258
配偶者	100	0	0	78

単位:万円

支出	額
基本生活費	360
住居費(除ローン)	240
教育費	84
自動車関連費	0
一時的支出・年金積立	0
ローン返済代 + 諸経費	168
その他	

印刷 



図形挿入領域
N106~R127

前へ 

次へ 

3

次への下向き矢印
を押します。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『金融資産』を入力します

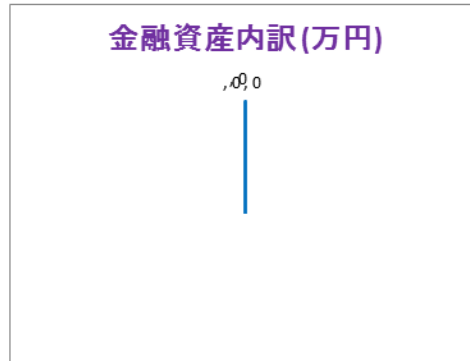
現状の金融資産の詳細を記述します。

③ 金融資産

預貯金(円建て) 前年末残高 万円

No	金融機関	支店	口座番号	預貯金額
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
小計				0

① 詳細を記入します



株式・債券・投資信託(円建て) 前年末残高 万円

No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	金額
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
小計						0

② 詳細を記入します

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て) 前年末残高 万円

No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	円換算金額
1								0
2								0
3								0
4								0
5								0
6								0
7								0
8								0
小計(円換算=万円)								0

③ 詳細を記入します

印刷

➡ 将来の金融資産計算画面に移ります

左記の金融資産合計額(前年残高)がFPキャプテン入力と3万円以上違います

左記記入の前年末金融資産

基準年残高: 0 万円

➡ 左記の額を入力と収入の現状

現在のFPキャプテンの基準年残高

基準年残高: 1,800 万円

差: 1,800 万円

3

前へ

次へ

使途不明金は基準年の収支 [基準年の可処分所得 - 基準年の支出合計] が、預金の増額 [基準年末預金残高 - 前々年末預金残高] に反映されていない額を計算します。

4

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

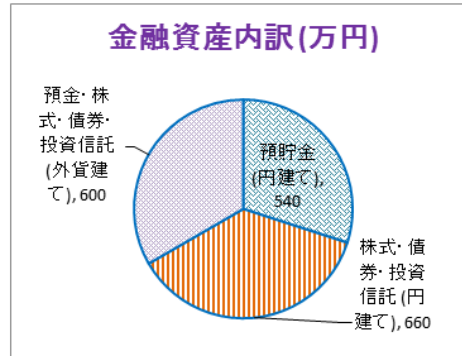
『金融資産』を入力します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

③ 金融資産

預貯金 (円建て)				前年末残高	万円
No	金融機関	支店	口座番号	預貯金額	
1	AA銀行	横浜支店	4560000	220	
2	BB銀行	横浜支店	5670000	320	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
小計				540	

① 詳細を記入しました



株式・債券・投資信託 (円建て)						前年末残高	万円
No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	金額	
1	CC証券	関内支店	6780000	CC株式	1100	350	
2	DD証券	川崎支店	7890000	FF債権	5000	310	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
小計						660	

② 詳細を記入しました

預金・株式・債券・投資信託 (外貨建て)							前年末残高	万円
No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	円換算金額
1	GG銀行	東京支店	3450000	預金	米ドル	50,000	¥120.0	600
2								0
3								0
4								0
5								0
6								0
7								0
8								0
小計 (円換算 = 万円)								600

③ 詳細を記入しました

FPキャプテンで作成

印刷

➡ 将来の金融資産計算画面に移ります

左記記入の前年末金融資産
 基準年残高: 1,800 万円 ➡ 左記の額を入力と収入の現状!

現在のFPキャプテンの基準年残高
 基準年残高: 1,800 万円 差: 0 万円

3

前へ

④ 次への下向き矢印を押します。

次へ

使途不明金は基準年の収支 [基準年の可処分所得 - 基準年の支出合計] が、預金の増額 [基準年末預金残高 - 前々年末預金残高] に反映されていない額を計算します。

4

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『積立年金・生命保険など』を確認します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

④ 個人積立年金・個人積立保険

名称	積立・残高	積立開始年	積立利息%	年間積立金	基準年残高	積立終了年	据置期間年	据置利息%	受取期間年	受取利率%
保険・年金1			0.000%	0	0		0	0.000%	1	0.000%
保険・年金2			0.000%	0	0		0	0.000%	1	0.000%
保険・年金3			0.000%	0	0		0	0.000%	1	0.000%

⑤ 生命保険

		生保 #1	生保 #2	生保 #3	生保 #4
生命保 険 (被保 険 者 本人)	契約開始年				
	契約完了年				
	保険金額				
	変動率				

⑥ 年金

リタイア	退職金関連			公的年金関連		終身収入 65歳時額	企業年金関連			
	受給年	取得率*1	又は 金額	受給年	65歳時額		年金額	開始年	終了年	特退健保
本人	60	3.15	0	65	258	0	0	65	111	0
配偶者	60	3.15	0	65	78	0	0	65	111	0

*1 注: 退職金は前年年収の%表示

注: 可処分所得による入力

FPキャプテンで作成

5

次への下向き矢印を押します。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『バランスシート』を確認します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

① バランスシート

単位: 万円

資産 (万円)		負債 (万円)	
預貯金 (円建て)	540	ローン	1,371
株式・債券・投資信託 (円建て)	660	その他負債	
預金・株式・債券・投資信託 (外貨建て) 外貨	600	借金	
保険 (解約返戻金)	1,200		
不動産: 自宅	9,371		
その他不動産	0	合計	1,371
宝石・貴金属	400		
その他動産	1,050	純資産 (万円)	12,451
合計	13,821	合計	13,821

基準年のローンは『現状(例1)』です

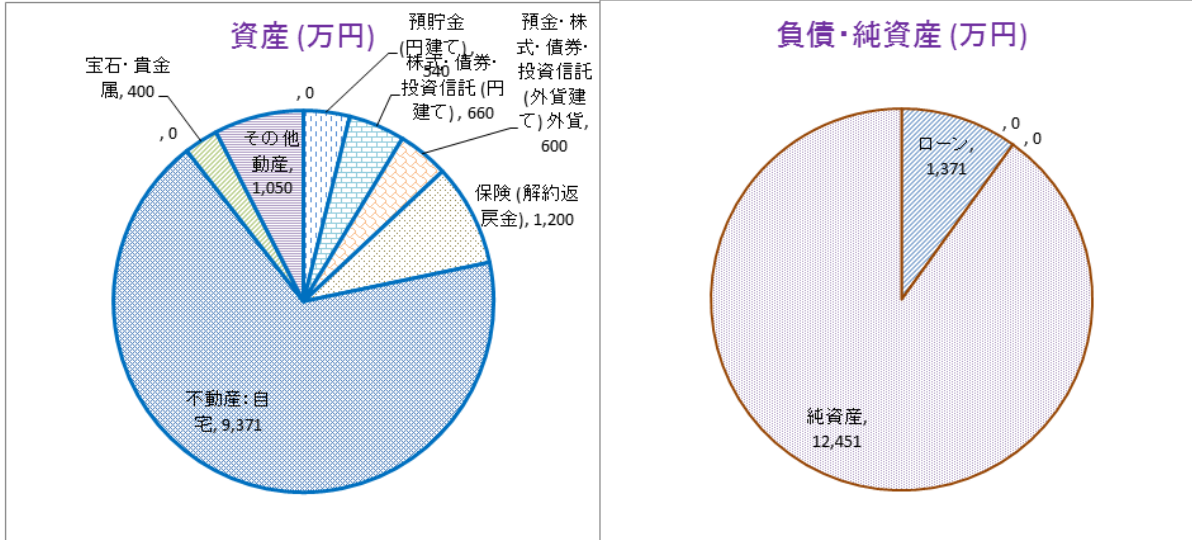
印刷

将来のバランスシートの計算画面に移ります

資産シートデータを初期値とします

ローン キャッシュフローからコピー 単位: 万円

ローン	10年後	西暦	基準年	⇒	10年後
ローン合計			2015		2025
10年後	西暦				
ローン選択	本人年齢		50		60
	ローン計: 現状(例1)		1,371		0
	ローン計: 変更(例2)		1,371		0



個人バランスシート 単位: 万円

	基準年	平均変動率	10年後
・ 保険 (解約返戻金)	1,200	0.000%	1,200
・ 不動産: 自宅	9,371	3.146%	12,775
・ その他不動産	0	0.000%	0
・ 宝石・貴金属	400	1.625%	470
・ その他動産	1,050	3.524%	1,485
・	0	0.000%	0

(は『資産シートタブ』の情報を反映します)

前へ

次へ

次への下向き矢印を押します。

FPキャプテンで作成

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『ライフイベント』を確認します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

- 3 プラン作成にあたってのご希望
① 山田家のライフイベント表

ご家族のライフイベント									予算
西暦	本人(年齢)	達也様	奈々様	佐奈様	大空様	第三子	子(父)	子(母)	
2015	50			高校入学					
2016	51								
2017	52				高校入学				
2018	53			文系入学					
2019	54								
2020	55				文系入学				
2021	56								
2022	57								
2023	58								
2024	59								
2025	60	退職							
2026	61								
2027	62								
2028	63								
2029	64								
2030	65								
2031	66								
2032	67								
2033	68								
2034	69								
2035	70								
2036	71								
2037	72								
2038	73								
2039	74								
2040	75								
2041	76								
2042	77								
2043	78								
2044	79								
2045	80								

①追加項目がある時は入力します

印刷



前へ

②次への下向き矢印を押します。

次へ



この区間は西暦と本人年齢を変更できます

7

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『希望』と『ファイナンシャル・ゴール』を入力します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

② 山田家の希望

- 1:二人のお子様はこれから高校、大学と進学するに当たりお子様の将来の希望がかなえられるように、各自の希望を聞きながら、大学の進学を考えたい。
- 2:大手企業に勤務していて、会社業績も順調で今の状況では60歳の定年まで勤務が可能です。勤務先には退職金規定があり、退職金を受け取ることが出来ます。また雇用延長制度を活用して65歳まで勤務する予定です。
- 3:勤務中の若い時に海外赴任を経験し、その時に貯めた資金で自宅購入の頭金と預金をしました。
- 4:自宅は31歳の時に4000万円の一軒家を購入しました。住宅ローンは3600万円を29年返済で借り入れ現在返済中です。
- 5:奥様は長男(二子)が小学校に入ってから、以前の経験活かして長男(二子)が大学入学後、週三回、翻訳のアルバイトを行っています。今後とも、自分の為にも60歳まで継続する予定です。

① 記入します



③ 山田家のファイナンシャル・ゴール

- 1:退職後、通常の生活が出来るようにしたい
- 2:仮に60歳で相続が発生した場合の相続税の概算を知りたい
- 3:50代に資産運用をして、金融資産を増やすことが出来るかを相談したい

② 記入します

印刷



前へ

次へ

③ 次への下向き矢印を押します。

『FPの提案内容』を入力します

右側の次への緑矢印を押すか、下へスクロールします。

5 FPの提案内容

山田様のキャッシュフローは健全であります。
不動産と動産の資産が多く、相続になった場合、不動産や動産は分割が出来ないため、生前に最善の方法を考えておくことがよいと思います。一つの方法としては、生命保険などを活用した代償分割があります。また、お子様には相続税の負担が発生すると思いますので、その資金も併せて検討するのがよいでしょう。円滑な遺産分割の為に、エンディングノートと遺言書の作成を考えられることを提案します。専門知識を持ったFPなどにご相談される万全をきすのがよい方法だと思います。

①記入します

FPキャプテンで作成

11

印刷



前へ

次へ

②必要なものを印刷します

該当矢印を押すとそのグラフを表示し

● このシートに戻るときは下のシ

- ➡ 【収入・支出・年間収支】・【金融資産】
- ➡ 【ローン返済額グラフ】・【ローン返済】
- ➡ 現状のキャッシュフロー表
- ➡ 提案(変更)のキャッシュフロー表2
- ➡ 40年間収支内訳比較
- ➡ ライフプラン診断書
- ➡ 資産・保険金・死亡退職金・贈与など
- ➡ 相続額・相続税など

次へ

③次への下向き矢印を押します。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

追加説明項目

保険金・学校番号など

① 保険の入力

入力シートを開き左右中央・上下中央にある以下の表を入力する

生命保険 (被保険者 =本人)	契約開始年	35	65	保険金額 30歳～64歳 4,000万円 65歳～90歳 1,500万円
	契約終了年	64	90	
	保険金額	4,000	1,500	
	保険変動率			

② 学校番号と資金援助の入力

入力シートを開き適切な学校番号を入力する

教育 番号	幼歳		4				変動率		資金援助		他 年	院 年
	幼	小	中	高	前大	後大	院	年齢	額			
愛子	11	12	13	14	16	16		30	100			
真紀	11	12	13	14	16	16		30	100			
第三子	11	2	3	4	16	16		30	100			
子(父)	11	2	3	4	16	16		30	100			
子(母)	11	2	3	4	16	16		30	100			

学費修正欄

学費修正欄を設けていますので、各家庭の状況に合わせてご使用ください
塾などの追加費用はここに入れます。奨学金はマイナスで入力下さい

学費修正費 年額(万円)	小	中	高	自宅通学		アパート		幼	他
				国公	私立	国公	私立		
増減額	40	40	40	0	0	0	0	60	0

他(予備校/専門学校)は、適切な統計値がありませんので、文系大学の授業料を参考にしています。よって、適切に修正願います。

実際の小学校の塾費用は4年生くらいから増加しますが、4年から分けて入力出来ないの、小学校6年間で平均して入力します。

図の矢印を押します。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

保険金と必要保障グラフを開きます

必要保障額概算

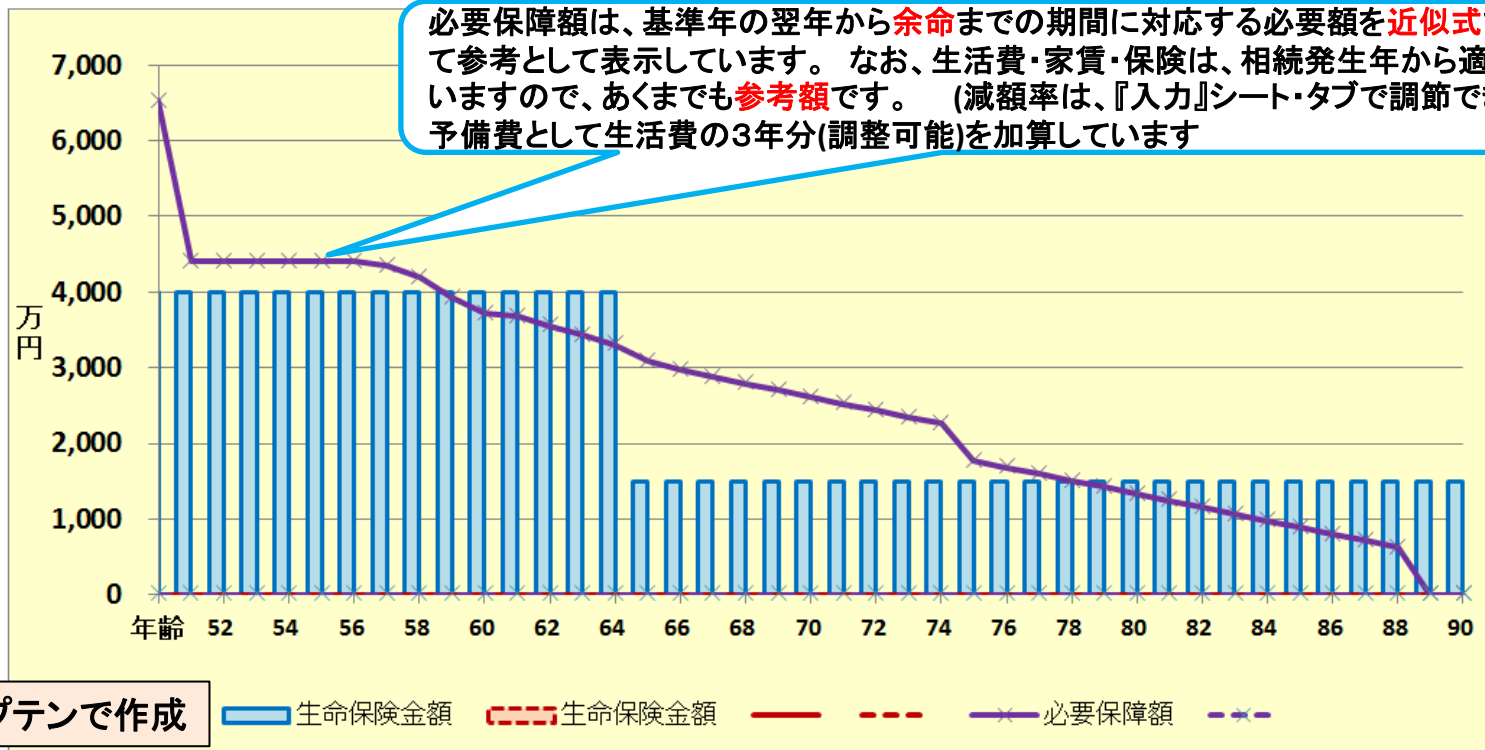
必要保障額(本人が今年死亡の場合)=[予備費 + 今後の遺族の支出合計(基本生活費等の支出累計)]
- 今後の遺族の収入合計(遺族年金等を含む収入累計) - 死亡後の前年の金融資産残高

作成者 木村太郎

山田様

2016年2月13日

印刷 



次へ 

注:昇給、税額および社会保険料は概算で計算していますので多少の誤差があります。将来の推定値は近似式を採用していますので参考値として下さい。全てのローンは満額の団体信用生命保険、またはそれ相当の生命保険に満額加入とします。

必要保障額は、基準年の翌年から余命までの期間に対応する必要額を近似式で概算計算して参考として表示しています。なお、生活費・家賃・保険は、相続発生年から適切に減額していますので、あくまでも参考額です。(減額率は、『入力』シート・タブで調節できます)

表示 = 1	生命保険金	保険金余裕額	必要保障額
現状(例1)	1	0	1
変更(例2)	0	0	0

西暦 = 1
2

Input1 (現状・例1)を表示する場合、Input2(変更・例2)にゼロを入れます。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

参考：年間収支、預金と使途不明金(自動計算)の関係

注：自動計算の場合は予め判明している使途不明金を『支出』の『その他』に入力します
前々年度預金残高が『0.00001』の場合は、使途不明金を手動で入力できます

使途不明金の取り扱い ⇒

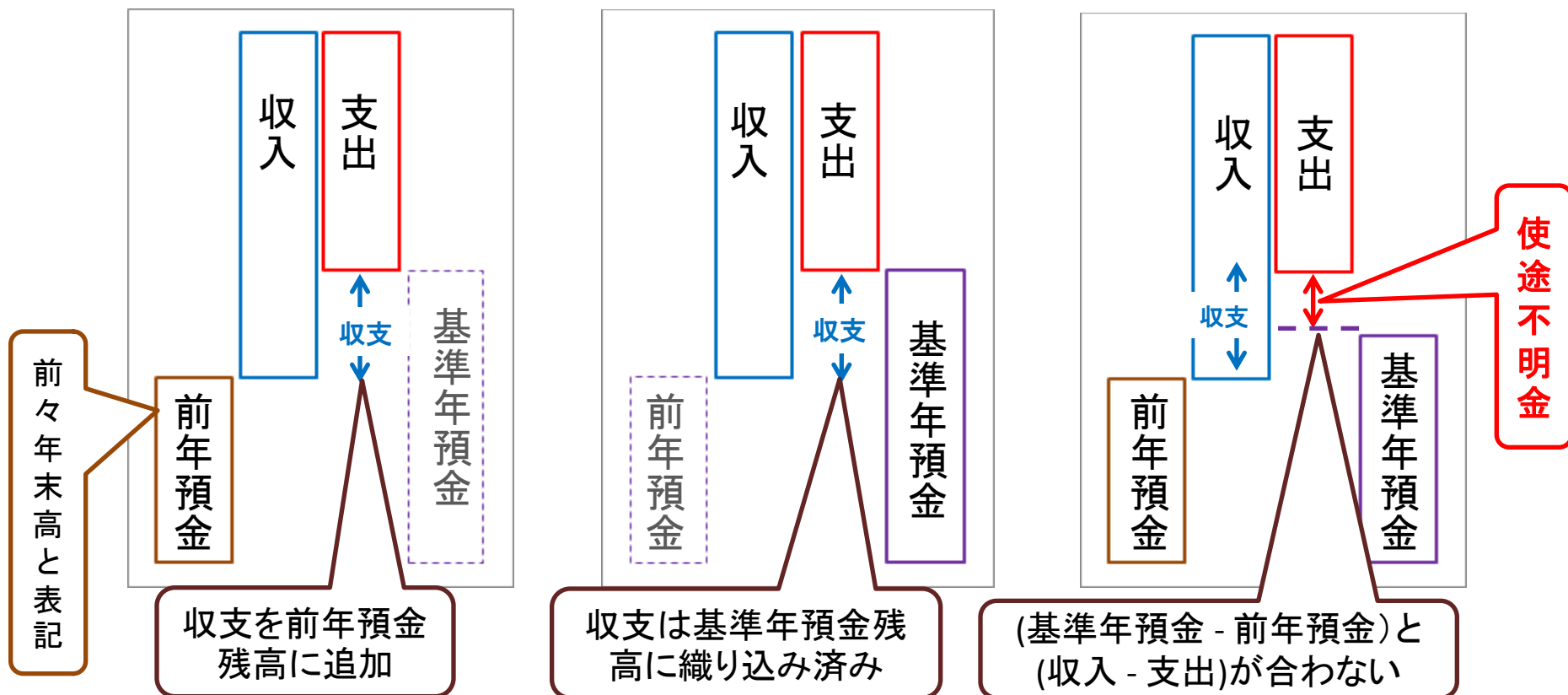
手動入力可能

自動計算

『入力画面の色々』のページ参照

前々年末預金残高が不明で、基準年預金残高が判明している場合

前々年末預金残高と、基準年預金残高の両方が判明している場合



このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『ご清聴ありがとうございました』

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身用のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

BACKUP 『将来を表示』

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

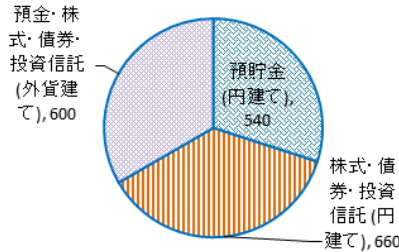
『将来の金融資産』を表示する(1)

将来の金融資産の矢印を押す

③ 金融資産

預貯金(円建て)				前年末残高	万円
No	金融機関	支店	口座番号	預貯金額	
1	AA銀行	横浜支店	4560000	220	
2	BB銀行	横浜支店	5670000	320	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
小計				540	

金融資産内訳(万円)



株式・債券・投資信託(円建て)						前年末残高	万円
No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	金額	
1	CC証券	関内支店	6780000	CC株式	1100	350	
2	DD証券	川崎支店	7890000	FF債権	5000	310	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
小計						660	

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て)								前年末残高	万円
No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	円換算金額	
1	GG銀行	東京支店	3450000	預金	米ドル	50,000	¥120.0	600	
2								0	
3								0	
4								0	
5								0	
6								0	
7								0	
8								0	
小計(円換算=万円)								600	

→ 将来の金融資産計算画面に移ります

左記記入の前年末金融資産

基準年残高: 1,800 万円 → 左記の額を入力と収入の現状!

現在のFPキャプテンの基準年残高

基準年残高: 1,800 万円 差: 0 万円

3

前へ

次へ

使途不明金は基準年の収支 [基準年の可処分所得 - 基準年の支出合計] が、預金の増額 [基準年末預金残高 - 前々年末預金残高] に反映されていない額を計算します。

4

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

変動率適用を押す

『将来の金融資産』を表示する (2)

変動率適用

現在を表示

印刷

③ 金融資産

10年後(基準年に対し)

預貯金(円建て) 前年末残高 変動率は『月福利』 万円

No	金融機関	支店	口座番号	変動率	預貯金額
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
小計				変動率変更	0

金融資産内訳(万円)

,000

株式・債券・投資信託(円建て) 前年末残高 変動率は『月福利』 万円

No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	変動率	金額
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
小計					数量・変動率変更		0

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て) 前年末残高 変動率は『月福利』 万円

No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	変動率	円換算金額
1									0
2									0
3									0
4									0
5									0
6									0
7									0
8									0
小計(円換算=万円)						外貨建金額・為替変更・変動率変更			0

4A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

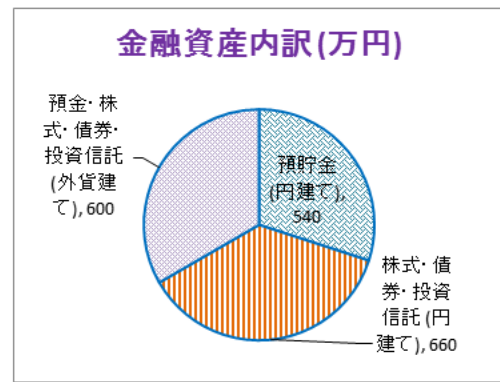
『将来の金融資産』を表示する (3)

変動率適用
現在を表示
印刷

③ 金融資産 10年後(基準年に対し)

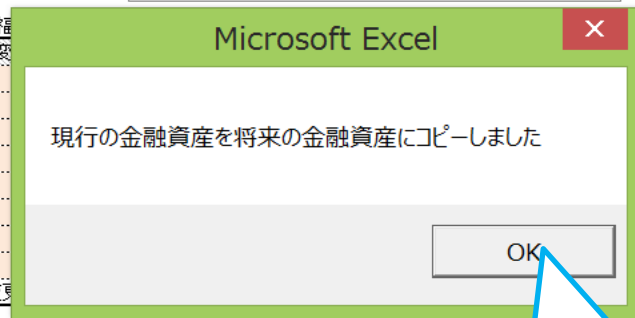
預貯金 (円建て) 前年末残高 変動率は『月福利』 万円

No	金融機関	支店	口座番号	変動率	預貯金額
1	AA銀行	横浜支店	4560000		220
2	BE銀行	横浜支店	5670000		320
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
小計					540



株式・債券・投資信託 (円建て) 前年末残高 変動率は『月福利』

No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	変
1	CC証券	関内支店	6780000	CC株式	1100	
2	DC証券	川崎支店	7890000	FF債権	5000	
3						
4						
5						
6						
7						
8						
小計					数量・変動率変更	



「OK」を押す

預金・株式・債券・投資信託 (外貨建て) 前年末残高 変動率は『月福利』 万円

No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	変動率	円換算金額
1	GG銀行	東京支店	3450000	預金	米ドル	50,000	¥120.0		600
2						0			0
3						0			0
4						0			0
5						0			0
6						0			0
7						0			0
8						0			0
小計 (円換算 = 万円)									外貨建金額・為替変更・変動率変更 600

外貨建て財産
単位 万円

4A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『将来の金融資産』を表示する (4)

変動率適用

現表示

印

③ 金融資産

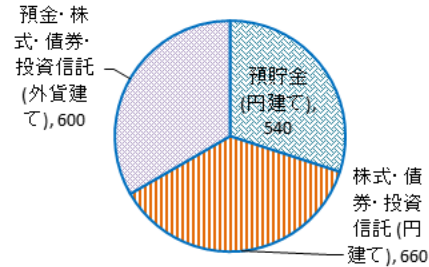
10年後(基準年に対し)

預貯金(円建て)				前年末残高	変動率(月福利)	万円
Nb	金融機関	支店	口座番号			預貯金額
1	AA銀行	横浜支店	4560000		0.500%	220
2	BE銀行	横浜支店	5670000		0.500%	320
3						0
4						0
5						0
6						0
7						0
8						0
小計						540

①「変動率」を挿入

②「変動率」を入れた場合は、もう一度矢印を押して下さい

金融資産内訳(万円)



株式・債券・投資信託(円建て)							前年末残高	変動率(月福利)	万円
Nb	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	金額			
1	CC証券	関内支店	6780000	CC株式	1100		1.000%		350
2	DD証券	川崎支店	7890000	FF債権	5000		1.000%		310
3									0
4									0
5									0
6									0
7									0
8									0
小計									660

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て)								前年末残高	変動率(月福利)	万円
Nb	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	金額	円換算金額	
1	GG銀行	東京支店	3450000	預金	米ドル	50,000	¥1200	1.200%	600	
2									0	
3									0	
4									0	
5									0	
6									0	
7									0	
8									0	
小計(円換算=万円)									600	

変動率は『月福利』で計算します

4A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『将来の金融資産』を表示する (5)

変動率適用

現在を表示

印刷

②「変動率」を入れた場合は、もう一度矢印を押して下さい

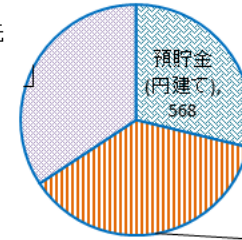
③ 金融資産

10年後(基準年に対し)

預貯金(円建て)		前年末残高	変動率は『月福利』		万円
No	金融機関	支店	口座番号	変動率	預貯金額
1	AA銀行	横浜支店	4560000	0.500%	231
2	BB銀行	横浜支店	5670000	0.500%	336
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
計					568

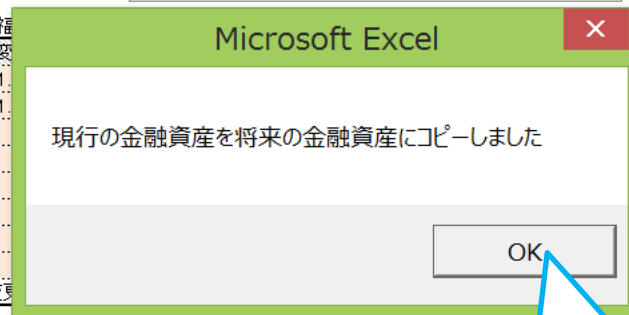
金融資産内訳(万円)

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て), 676



株式・債券・投資信託(円建て), 729

株式・債券・投資信託(円建て)		前年末残高	変動率は『月福利』		万円
No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量
1	CC証券	関内支店	6780000	CC株式	1100
2	DD証券	川崎支店	7890000	FF債権	5000
3					
4					
5					
6					
7					
8					
小計					数量・変動率変更



③「OK」を押す

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て)		前年末残高	変動率は『月福利』		万円				
No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	変動率	円換算金額
1	GG銀行	東京支店	3450000	預金	米ドル	56,371	¥120.0	1.200%	676
2						0			0
3						0			0
4						0			0
5						0			0
6						0			0
7						0			0
8						0			0
小計(円換算=万円)					外貨建金額・為替変更・変動率変更				676

外貨建て財産
単位 万円

4A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

現在に戻る場合に押す

『将来の金融資産』を表示する (6)

③ 金融資産

10年後(基準年に対し)

預貯金(円建て) 前年末残高 変動率は『月福利』 万円

No	金融機関	支店	口座番号	変動率	預貯金額
1	AA銀行	横浜支店	4560000	0.500%	231
2	BE銀行	横浜支店	5670000	0.500%	336
3					0
4					0
5					0
6					0
7					0
8					0
小計					568

変動率変更 →

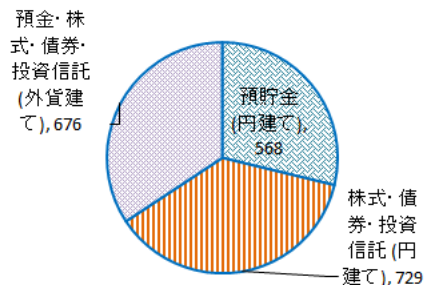
株式・債券・投資信託(円建て) 前年末残高 変動率は『月福利』 万円

No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	数量	変動率	金額
1	CC証券	関内支店	6780000	CC株式	1100	1.000%	387
2	DD証券	川崎支店	7890000	FF債権	5000	1.000%	343
3							0
4							0
5							0
6							0
7							0
8							0
小計					数量・変動率変更 →		729

預金・株式・債券・投資信託(外貨建て) 前年末残高 変動率は『月福利』 万円

No	金融機関名	支店	口座番号	銘柄	外貨通貨名	外貨建金額	為替レート	変動率	円換算金額
1	GG銀行	東京支店	3450000	預金	米ドル	56,371	¥120.0	1.200%	676
2						0			0
3						0			0
4						0			0
5						0			0
6						0			0
7						0			0
8						0			0
小計(円換算=万円)					外貨建金額・為替変更・変動率変更 →				676

金融資産内訳(万円)



金融資産の平均利回り	率
全体として	0.92%

最初に左の3個の緑矢印(変動率適用など)を押してから
上記の平均利回りを入力(現状)にコピー
変更の基準年(安全優先)にコピー

この平均利回りを
キャッシュフローに
適用する時はこの
赤矢印を押す

4A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『将来のバランスシート』を表示する(1)

右側の次への緑矢印を押すか、**将来のバランスシートの矢印を押す**

⑦ バランスシート

単位: 万円

資産 (万円)		負債 (万円)	
預貯金 (円建て)	540	ローン	1,371
株式・債券・投資信託 (円建て)	660	その他負債	
預金・株式・債券・投資信託 (外貨建て) 外貨	600	借金	
保険 (解約返戻金)	1,200		
不動産: 自宅	9,371		
その他不動産	0	合計	1,371
宝石・貴金属	400	純資産 (万円)	12,451
その他動産	1,050		
合計	13,821	合計	13,821

基準年のローンは『現状(例1)』です

10年後のローンの選択をします

将来のバランスシートで使用するローン選択

- 0 キャッシュフローを選択しない
- 1 キャッシュフロー-1を選択
- 2 キャッシュフロー-2を選択

将来のバランスシートの計算画面に移ります

資産シートデータを初期値とします

ローン キャッシュフローからコピー 単位: 万円

ローン	ローン合計	基準年	⇒	10年後
10年後	西暦	2015		2025
ローン選択	本人年齢	50		60
	ローン計: 現状(例1)	1,371		0
	ローン計: 変更(例2)	1,371		0

ローン残高をメモします。

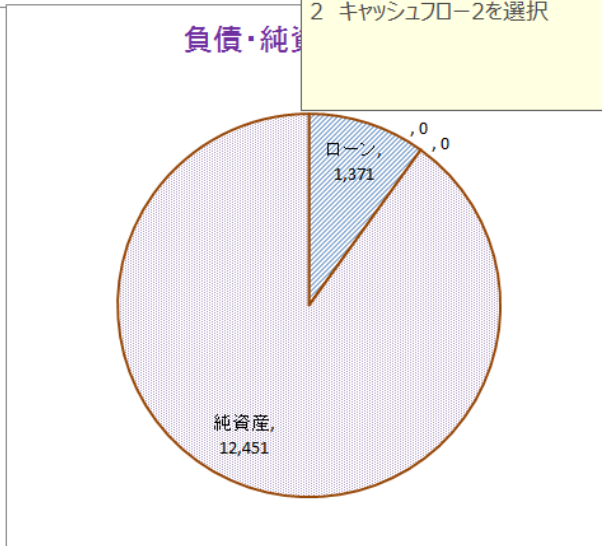
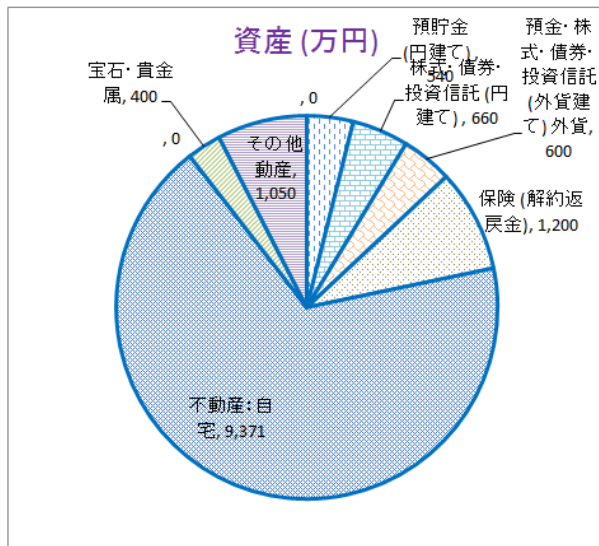
バランスシート 単位: 万円

	基準年	平均変動率	10年後
保険 (解約返戻金)	1,200	0.000%	1,200
不動産: 自宅	9,371	3.146%	12,775
その他不動産	0	0.000%	0
宝石・貴金属	400	1.625%	470
その他動産	1,050	3.524%	1,485
	0	0.000%	0

(は『資産シートタブ』の情報を反映します)

前へ ↑

次へ ↓



6

FPキャプテンで作成

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『将来のバランスシート』を表示する (2)

変動率適用を押す

変動率適用

現在を表示

印刷

⑦ バランスシート

10年後(基準年に対し)

個人バランスシート			変動率は『年福利』		
資産(万円)		変動率	万円	負債(万円)	
				変動率	万円
預貯金(円建て)			0	ローン	0
株式・債券・投資信託(円建て)			0	その他負債	0
預金・株式・債券・投資信託(外貨建て) 外貨			0	借金	0
保険(解約返戻金)	0.000%		0		0
不動産: 自宅	3.146%		0	合計	0
その他不動産	0.000%		0		0
宝石・貴金属	1.625%		0	純資産(万円)	0
その他動産	3.524%		0		0
			0		0
合計			0	合計	0



6A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『将来のバランスシート』を表示する (3)

変動率適用

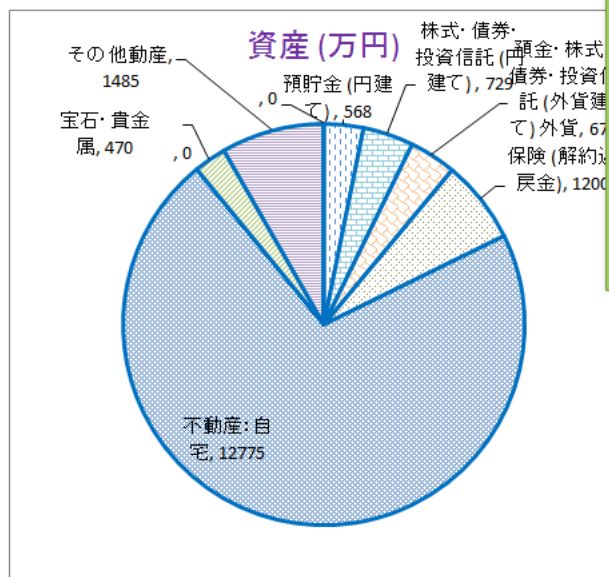
現在を表示

印刷

⑦ バランスシート

10年後(基準年に対し)

個人バランスシート		変動率は『年福利』	
資産 (万円)		変動率	万円
預貯金(円建て)	568		
株式・債券・投資信託(円建て)	729		
預金・株式・債券・投資信託(外貨建て)外貨	676		
保険(解約返戻金)	0.000%	1,200	
不動産:自宅	31.46%	12,775	
その他不動産	0.000%	0	
宝石・貴金属	1.625%	470	
その他動産	3.524%	1,485	
合計		17,903	
		変動率修正適用	
負債 (万円)		変動率	万円
ローン	1,371		
その他負債	0		
借金	0		
合計		1,371	
純資産 (万円)			16,532
合計			17,903

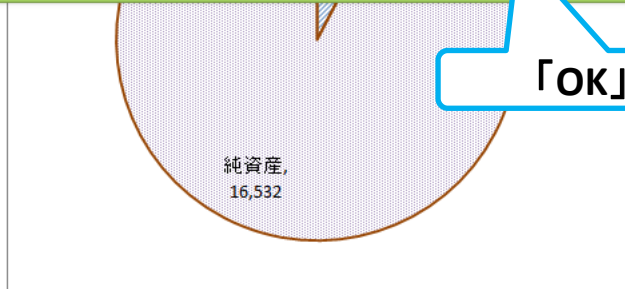


Microsoft Excel

現行のバランスシートを将来の金融資産にコピーしました

OK

「OK」を押す



6A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『将来のバランスシート』を表示する (4)

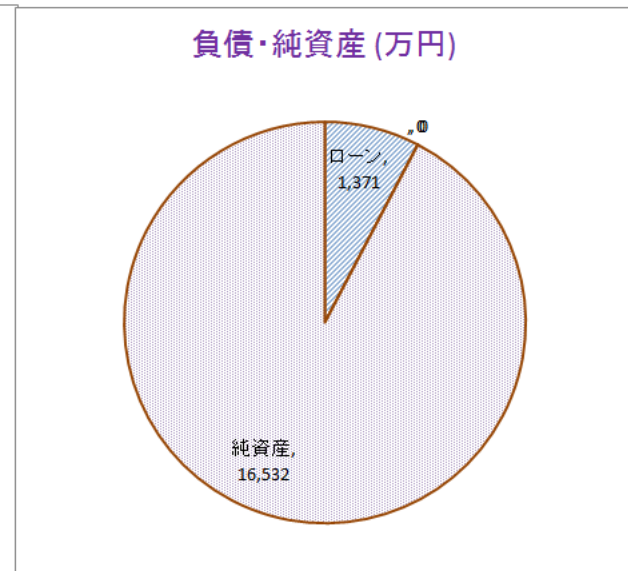
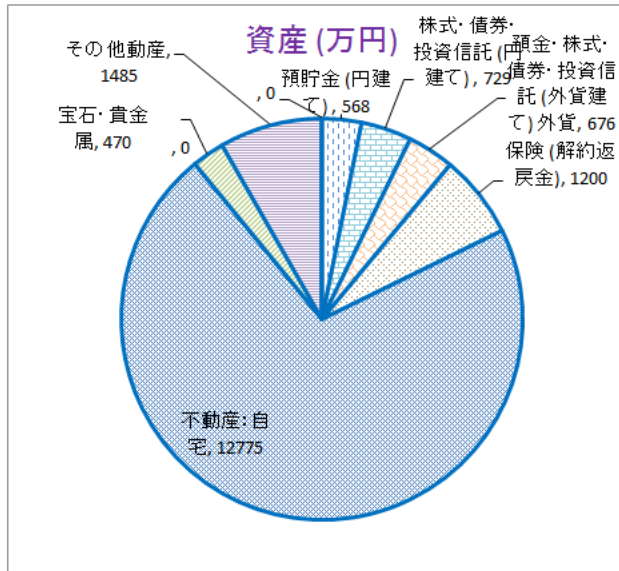
ローン残高を自動反映していないときは修正します

変動率適用
現在を表示
印刷

⑦ バランスシート

10:年後(基準年に対し)

個人バランスシート		変動率は『年福利』		負債 (万円)		万円	
資産 (万円)		変動率	万円	負債 (万円)	変動率	万円	
預貯金 (円建て)			568	ローン		1,371	
株式・債券・投資信託 (円建て)			729	その他負債		0	
預金・株式・債券・投資信託 (外貨建て) 外貨			676	借金		0	
保険 (解約返戻金)	0.000%		1,200			0	
不動産: 自宅	3.146%		12,775	合計		1,371	
その他不動産	0.000%		0				
宝石・貴金属	1.625%		470	純資産 (万円)		16,532	
その他動産	3.524%		1,485				
			0				
合計	変動率修正適用		17,903	合計		17,903	



6A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

『将来のバランスシート』を表示する (5)

変動率適用

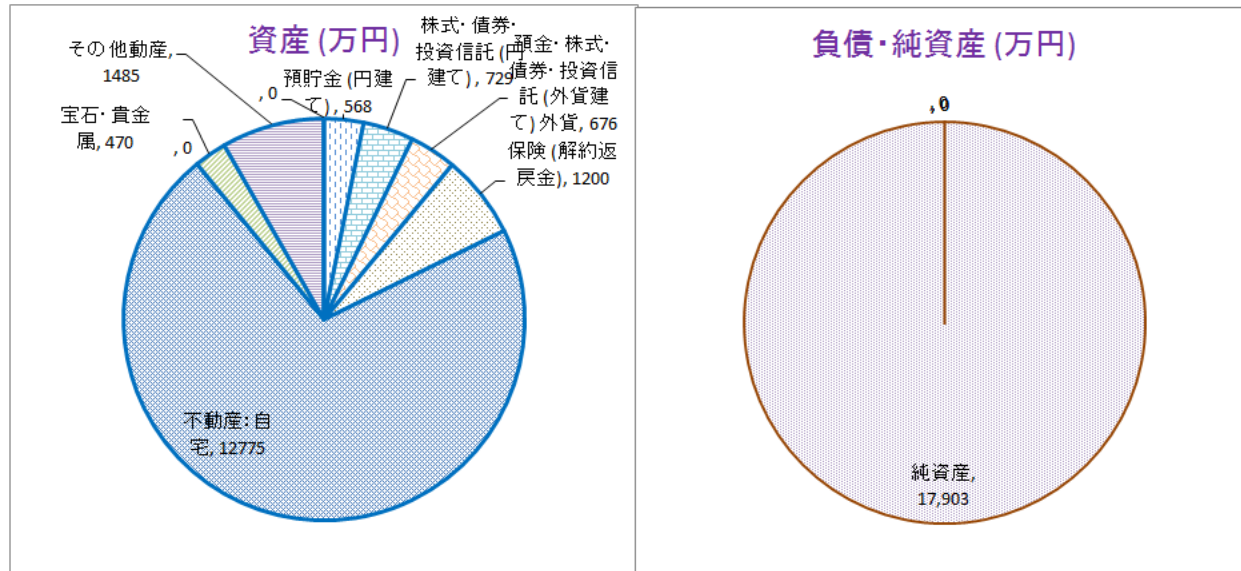
現在を表示

⑦ バランスシート

10年後(基準年に対し)

個人バランスシート		変動率は『年福利』		負債(万円)		変動率		万円	
資産(万円)			変動率	負債(万円)			変動率	万円	
預貯金(円建て)		568		ローン		0			
株式・債券・投資信託(円建て)		729		その他負債		0			
預金・株式・債券・投資信託(外貨建て)外貨		676		借金		0			
保険(解約返戻金)	0.000%	1,200				0			
不動産: 自宅	3.146%	12,775				0			
その他不動産	0.000%	0		合計		0			
宝石・貴金属	1.625%	470		純資産(万円)		17,903			
その他動産	3.524%	1,485							
		0							
合計	変動率修正適用	17,903		合計		17,903			

現在に戻る場合に押す



6A

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複製、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

白紙

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

Backup 『FPキャプテン』 を保存する方法

事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『ファイル』をクリックします

押す

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 アドイン

A4 fx

A B C D E F G H I J K L M

4

5

7

8


FPキャプテン
ライフプラン作成ソフト

注:当EXCELソフトはパソコンにダウンロードしてからご使用下さい。(“C”ホルダー)
USBメモリー,CD,メール受信ボックス上での動作は保障いたしません。










使用可能 Version 15.54
kfpkfp

最初はどちらかの赤い矢印を押して開始します

注意:当EXCELソフトのファイル名の2個の“@”の間は変更しないで下さい。
ファイル名に新たに「_」「-」「@」「.」「/」「\」小文字などを追加使用しないで下さい。
当EXCELソフトは登録されているパソコンのユーザー名の“ハードディスクドライブのC”のホルダーでご使用下さい。

『簡単』へジャンプ ⇒  左の緑矢印を押して家族構成・職種などの入力(簡単シート)にお進みください

注:マクロを使用しない方は下の『タブ(シート名)』をご使用下さい
[初期設定値 \(インターネット接続後ご使用下さい\)](#)

内容	下の矢印をクリック	シート名
(給与所得者 20歳~64歳で年収が120万円以上が対象)		
家族構成、職種などの入力 [必須]		簡単
収入と金融資産などの入力 [必須]		収入
支出関連(生活費・住宅ローンなど)の入力 [必須]		支出
年金・保険・支出などの詳細情報入力 [任意]		入力
年間収支・金融資産残高・ローン残高などの表示		図
ローン関連の表示		ローン
相続・贈与情報の入力		資産
質問票を使用したの入力	 	

使用上の制限条項、初期設定項目、自動計算項目はスクロールダウンすることにより閲覧できます。

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

『ファイル』⇒『名前を付けて保存』を選択します

押す

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 開発 アドイン

上書き保存
名前を付けて保存
開く
閉じる

情報

最近使用したファイル

新規作成

印刷

保存と送信

ヘルプ

アドイン

オプション

終了

Seminar_リタイア_1_KFP@305040_寄贈-KR@ の情報

C:\Users\¥iwasaki¥Documents¥説明資料¥ KFP_FPcaptain_Seminar¥Semi...

アクセス許可

ブックの保護

このブックの構成は、シートの移動、削除、追加などの不要な変更を防止するために、ロックされています。

このブックには、データの不要な変更を防ぐためにロックされているシートがあります。

- 表紙
- メニュー
- 簡単
- 収入
- 支出
- 単元
- 入力
- 情報

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。

先頭に適切な名前を挿入します

名前を付けて保存

20160213_KFP_FPca... 20160213_KFP_FPcaptain...

整理 ▾ 新しいフォルダー

Dropbox

デスクトップ

デスクトップ

OneDrive

ドキュメント

画像

公開

ホームグループ

名前

① デスクトップを選ぶ

マスター-Seminar_リタイア_1_KFP@305040_寄贈-KR@.xlsm

Seminar_リタイア_1_KFP@305040_寄贈-KR@.xlsm

ファイル名(N): Seminar_リタイア_1_KFP@305040_寄贈-KR@.xlsm

ファイルの種類(T): Excel マクロ有効ブック (*.xlsm)

作成者: kfp タグ: タグの追加

② 先頭に適切な名前を追加

③ 押す

保存(S) キャンセル

77 質問票を使用しての入力

78 p 使用上の制限条項、初期設定項目、自動計算項目はスクロールダウンすることにより閲覧できます。

Windows10で名前を変えた場合は、エクセルを完全に閉じてから、再度開いて下さい

このチャートは説明の為の『代表例』であり、この様になるとは限りません。皆様方におかれましては、ご自身の情報からご自身のチャートを作成して下さい。事前の許可なくして、当資料の無断使用、無断複写、無断配布などは、固くお断りいたします。